

達成度グリッド

プロジェクト名: アルゼンチン国・イグアス地域自然環境保全計画

分野	課題	指標/確認事項	情報源	達成度
活動	<p>1-1 関係機関の協力を形成し、プロジェクト地域の自然環境情報及びデータを共有する計画を合同で作成する。</p>	<p>・協力体制組織図 ・各機関の役割分担 ・作成された計画書 ・計画書の作成プロセスへの各関係機関の参画状況</p>	<p>プロジェクト報告書、日本人専門家・C/P聞き取り/質問票、現物確認</p>	<p>-合同調整委員会 (ICC) やワーキング・グループ (WG) の内部規定を作成・採択し、3つのC/P機関間の協力体制の形成を進めている。こうした合意形成の過程において、プロジェクト地域の自然環境情報及びデータをインターネットやホームページにより共有することが計画されているほか、情報収集方法についてのC/P機関間の合意形成についても適切な進捗をみている。 -情報管理方法については現在協議を重ね、合意形成を図っている段階である。一方、環境教育やパイロット事業については、基本的な部分の合意ができてい る。 -「自然環境管理」について具体的なイメージについて、プロジェクト内部（つまり、C/P機関とJICA 専門家チーム）で合意形成中であり、概ね合意に至っている状態である。 -定期的なミーティング、インターネットを使った情報共有により、関係機関の協力体制は当初に比較して大幅に改善されている。ただし、今後の更なる改善が望まれる。</p>
1-2	<p>インターネット、パンフレット、セミナー等を通じて、衛星画像、動物相、植物相、アグロ・エコ・ツーリズム及び社会・経済状況の情報を整理・共有する。</p>	<p>・当該情報及びデータの整備状況 ・共有に向けての体制・基盤整備状況</p>	<p>(同上)</p>	<p>-本プロジェクトは、情報・データ収集活動において“アグロ・エコツーリズム”に限定した活動ではなく、“エコツーリズム”全般について収集している。 -自然環境管理に関する基礎的な情報、つまり3箇所における動植物リスト及びプロジェクト対象地域における民有地500軒の土地利用（インタビュ調査により収集）、社会的なデータなどが収集された。 -専門家は、関係機関職員に対して日本の自然環境管理の実例を紹介した。同活動を通じて、日本側、アルゼンチン側双方で、本件業務によって目指すべき具体的な方向性、イメージの共有化を図った。例えば、本プロジェクト地域に含まれるパツアゾーンマナメントに焦点を当てること、これをグリーンコリドー地域における適切な環境保全管理方法と位置づけること、日本型、アルゼンチン型の自然管理方法は異なっていることなどが共有されている。 -プロジェクト活動を通じて収集された情報を基に、日本側、アルゼンチン側双方でホームページ (HP) が作成された (2004年12月スペイン語版及び英語版完成)。アルゼンチン側HPは、スペイン語と英語で作成されている。また、HPの維持・更新の責任者と、定期的な情報更新の仕組みが設置された。その後は、サーバー不具合などがあり、これまでのところ定期的に更新するには至っていないが、間もなく機能を始める予定である。また、各機関のHPでも本プロジェクト紹介を行うこととし、市役所では情報公開担当者配置されたほか、国立公園では既にHPに紹介されている。 -アンドレス・ト市のプロジェクト用事務所にインターネット機器を設置するなど、作業環境を改善した。 -自然環境情報マニュアルが作成され、情報・データの収集・共有に関する提案がまとめられた。</p>

<p>1-3 セミナー及びワークショップの研修を行い、自然環境管理に必要な情報を共有する。</p>	<p>・セミナー及びワークショップの開催実績 ・参加者からの評価 ・C/Pのセミナー・WS企画・運営能力の向上度合い</p>	<p>プロジェクト報告書、日本人専門家・C/P聞き取り/質問票、研修参加者アンケート</p>	<p>-C/P 機関職員及びプロジェクト対象地域の教員を対象としたセミナー、ワークショップを6回を実施した。うち5回はアンドレシート市において、1回はボサードにおいて実施し、総参加者数は212名である。上記5回のうち2回は環境教育セミナーである。 -研修参加者アンケートは、生態省が中心となって実施したプロジェクト紹介・情報級のためのセミナーでは、実施された(州政府の人、NGO など参加)。結果は取りまとめ中である。他のセミナーについては、今後実施の予定である。アンケートフォームは既に準備されている。</p>
<p>2-1 地域コミュニティ及び観光客を対象に、普及材料を作成するための研修を行う。</p>	<p>・研修参加者リスト(人数、所属などを含む) ・研修参加後に自発的に作成された普及材料の事例 ・普及材料への反響</p>	<p>プロジェクト報告書、日本人専門家・C/P聞き取り/質問票、現物確認</p>	<p>-プロジェクトの普及啓発促進のための計画案(普及戦略報告書)を作成した。 -パンフレット4種類(①プロジェクト普及用、②グリーンコルドー普及用、③アンドレシート市エコツアー普及用及び④イグアス国立公園バッファゾーン普及用)を2,000セット作成し、関係機関職員、セミナー参加者、地域住民及び観光客に配布した。どこの機関が何部担当するかを決め、各機関が配布した。プロジェクト対象地域においては、500部は手持ちで1軒1軒配布した。イグアス生態省事務所には、配布用に設置しており、訪問者が自由に持ち帰ることができるようになっている。</p>
<p>2-2 普及プログラムを計画・実施する。</p>	<p>・普及プログラムの計画数 ・普及プログラムの実施数 ・C/Pの普及プログラムの企画・運営能力の向上度合い</p>	<p>プロジェクト報告書、日本人専門家・C/P聞き取り/質問票</p>	<p>-毎年、実施計画書(年間計画)を作成し、本計画に記載の活動を実施した(ラジョオプログラム、パンフレット、ポスター、パネル等作成、セミナー・WSなど)。 -プロジェクト普及の目的で、プロジェクトの愛称(プロジェクト・カブレレイ)を作成した。 -2004年8月にプロジェクトのロゴマークについてデザインコンクールを開催し、ロゴマークを作成した。同コンクールには、約350人の子どもたちが参加した。 -マスメディアに情報提供する際には、全国、アルゼンチン北部地方、州のいずれのレベルにおいても唯一プロジェクト・ダイレクターを通じて行うこととなった。ローカル(市)レベルでは、自由にリリースしてよいこととなった。これまでのところプレスリリースはしていないが、メディア側からの取材はあり、新聞(少なくとも5件)、TV(少なくとも2件)などで紹介されている。また、ラジオでは頻りに宣伝している。</p>
<p>2-3 環境教育プログラムを計画するための研修を行う。</p>	<p>・研修参加者リスト(人数、所属などを含む) ・研修参加後の、研修参加者のプログラム計画作業への参画状況 ・参加者からの評価</p>	<p>プロジェクト報告書、日本人専門家・C/P聞き取り/質問票、研修参加者アンケート</p>	<p>-既存の環境教育プログラムに関する情報収集と、その見直し作業を行った。 -同時に、関係各機関より環境教育プログラムに関する提案を募集した。生態省、国立公園局各1回(ブエノスから NGO を通じて講師派遣)実施した。 -このほか、プロジェクトでは、プロジェクト地域に導入する新規プログラムを計画中である。 -研修参加者アンケートは今後実施の予定であり、アンケートフォームは既に準備されている。</p>
<p>2-4 環境教育の教材を作成するための研修を行う。</p>	<p>・研修参加者リスト(人数、所属などを含む) ・研修参加後に、研修参加者により作成された教材の事例 ・作成された教材の内容</p>	<p>プロジェクト報告書、日本人専門家・C/P聞き取り/質問票、研修参加者アンケート、現物確認</p>	<p>-既存の教材に関する情報収集と、その見直しと改善点の検討を行った。 -2005年度カレンダーセット(写真入り。卓上用、壁掛け用)各1,200部を作成した。 -研修参加者アンケートは今後実施の予定であり、アンケートフォームは既に準備されている。</p>

<p>2-5 環境教育プログラムを実施する。</p>	<p>・当該プログラムの実施状況 ・参加者からの評価</p>	<p>プロジェクト報告書、日本人専門家・C/P聞き取り/質問票、プログラム参加者アンケート</p>	<p>-2004年9月及び11月に、教員を対象とした環境教育セミナーを2回開催し、計82名の関係機関職員及び教育関係者の参加を得た。 -参加者から、プログラムの内容や活動、専門性について高い評価を得ており、満足感が表明されている。一部教師の中からは学校の授業の中で、環境に関したテーマを扱いはじめている。 -プログラム参加者アンケートは今後実施の予定であり、アンケートフォームは既に準備されている。 -プロジェクト関係者内部で、パイロット事業についてのイメージの共有化を図った。 -拠点施設としての宿泊サイトの選定、調査と設計、施工、管理運営のための情報収集を行い、パイロット事業の基本計画案を作成した。 -アンドンレシエート市内のエコツアーリズムの現状調査を行った。 -研修のために必要な情報が収集され、研修計画案を作成した。 -日本からのモニターングツアー客受入れを通じて、実践的な研修を行った。 -研修参加者アンケートは今後実施の予定であり、アンケートフォームは既に準備されている。</p>
<p>3-1 パイロット事業の計画を作成する。</p>	<p>・計画書の有無 ・計画内容</p>	<p>プロジェクト報告書、パイロットプロジェクト計画書など</p>	<p>-プロジェクト関係者内部で、パイロット事業についてのイメージの共有化を図った。 -拠点施設としての宿泊サイトの選定、調査と設計、施工、管理運営のための情報収集を行い、パイロット事業の基本計画案を作成した。 -アンドンレシエート市内のエコツアーリズムの現状調査を行った。 -研修のために必要な情報が収集され、研修計画案を作成した。 -日本からのモニターングツアー客受入れを通じて、実践的な研修を行った。 -研修参加者アンケートは今後実施の予定であり、アンケートフォームは既に準備されている。</p>
<p>3-2 パイロット事業の実施のための研修を行う。</p>	<p>・研修参加者リスト（人数、所属などを含む） ・研修参加者による活動事例（研修効果） ・参加者からの評価</p>	<p>プロジェクト報告書、日本人専門家・C/P聞き取り/質問票、研修参加者アンケート</p>	<p>-研修のために必要な情報が収集され、研修計画案を作成した。 -日本からのモニターングツアー客受入れを通じて、実践的な研修を行った。 -研修参加者アンケートは今後実施の予定であり、アンケートフォームは既に準備されている。</p>
<p>3-3 アグロ・エコツアーリズムのパイロット事業を実施する。</p>	<p>・事業の実施状況（実施件数、参加人数、活動形態・内容など）</p>	<p>プロジェクト報告書、調査結果に関する報告文書など</p>	<p>-日本からモニターングツアー客を受け入れた（2回）。 -宿泊サイトの設計・施工を行った。 -関係機関の間で、事業の施設整備や運営体制についての合意形成の仕組みが確立されておらず、今後の対応が必要である。現時点では、協議会の設置を検討している。 -プロジェクト対象地域において、エコツアーリズムを推進するためのサービスマンが依然未成熟である。例えば、観光局事務所の営業時間が短い（ハイシーズンでも午後4時まで）、食事、宿泊情報を得られる仕組みがない、情報を得るためのツールが不足しているなどである。一方、改善された点としては、州道がアスファルト化されアクセスしやすくなったことが挙げられる。</p>
<p>3-4 パイロット事業の実施を通じて知識及び経験を蓄積し、民間の活動に利用する。</p>	<p>・事業実施を通じて得た知識・経験の事例 ・上記知識・経験などの蓄積方法 ・同成果品（文書、データベースなど）</p>	<p>プロジェクト報告書、現物確認</p>	<p>-日本からのモニターングツアー実施を通じて、プログラムの実施場所、実施可能性について検討した。</p>
<p>成果1</p>	<p>指標</p>	<p>達成度</p>	<p>-C/P 機関間の調整を促進するための年間業務計画が作成されている。</p>
<p>関係機関間においてプロジェクト地域の自然環境情報及びデータベースが共有され、</p>	<p>1.1 実施機関が合同で作成した計画書</p>	<p>・活動計画書</p>	<p>-C/P 機関間の調整を促進するための年間業務計画が作成されている。</p>

<p>自然環境管理に有効活用される。</p>	<p>1.2 実施機関により整理された情報の項目数・量の数</p> <p>1.3 連携事業（セミナー、ワークショップ）の開催数・参加機回数・参加者数</p> <p>1.4 実施機関で共有された情報の項目数・量</p>	<p>・活動計画書</p> <p>・活動計画書</p> <p>・活動計画書</p>	<p>-収集した情報・データは自然環境情報マニュアルに整理し、約30部コピーを配布した。インターネットによる共有はできていないが、今後実施の予定である。また、要約版の作成、配布は検討中である。</p> <p>-市民図書館（ホルヘ・ルイス・ボルヘス公立図書館）において、図書配列の見直しや情報アクセスの改善を通じて、同図書館を環境情報のフォーカルポイントとして整備する計画である。また、ジャクイ事務所においても同様の活動を検討している。</p> <p>-収集された情報・データの項目及び量は、植物（61科172種）、節足動物（8月33科10月53科）、両生類（5科13種）・爬虫類（5科5種）、鳥類（26科55種8月時点調べ38科79種10月）、哺乳類（12科19種）、土壌、気候、衛生画像（航空写真）、社会経済が整理されている。</p> <p>-セミナー、ワークショップを4回（環境教育に関する情報共有セミナー・WSは含まない。同セミナー・WSは、成果2の方でカウントする）を実施しており、これまでの総参加者数は212名である。参加機回は、ミシオオネオス州生態省、アンドレシエート市、国立公園局のほか、環境NGO、プロジェクトサイトの学校などである。</p> <p>-（上記指標1.2を参照のこと）</p>
<p>成果2</p> <p>プロジェクト地域における住民及び観光客を対象とした自然環境保全の普及啓発活動が促進され、環境教育プログラム及び教材が改善される。</p>	<p>指標</p> <p>2.1 改善及び作成されたプログラムの数・質</p> <p>2.2 改善及び作成された教材の数・質</p> <p>2.3 普及および環境教育の指導者数（関係3機関役所の職員）</p> <p>2.4 普及および環境教育の実施回数</p> <p>2.5 普及および環境教育への参加者数</p> <p>指標</p>	<p>指標入手手段</p> <p>・プログラムに対する参加者へのアンケート・インタビュー調査</p> <p>・教材に対する参加者へのアンケート・インタビュー調査</p> <p>・研修修了証書、活動報告書</p> <p>・活動報告書</p> <p>・活動報告書</p>	<p>達成度</p> <p>-アンドレシエート市においては、本プロジェクト開始以前は、地域の特性にあった環境教育プログラムはなかったため、現在プロジェクトにおいて新規作成中である。一般的な環境教育プログラムは、生態省が1つ、APNが1つ持つっており、本プロジェクトにおいては、これら既存プログラムについて地域の特性や状況を考慮したプロジェクトの活動として、どのような改善を行えばよいか検討中である。</p> <p>-APNと生態省は本プログラムを適用し、それぞれ1回ずつ計2回環境教育セミナーを実施した。生態省は自前のプログラムを適用し、APNは関係NGOより講師を派遣してもらい実施した。</p> <p>-参加者を対象としたアンケートは、フォームは作成済みであり、今後は実施の予定である。</p> <p>-写真入りカレンダー（卓上：オフィス、壁掛け用：一般家庭）1200ずつを作成以外、これまでのところ教材は作成されていない。</p> <p>-今年度は、ガイドブック及び視聴覚教材を作成をする予定である。プロジェクト終了時までに、いくつかの教材を作成する予定である。</p> <p>-指導者の定義が明確化されていないため、指導者数を数えることはできない。今後、定義づけを行うていく。</p> <p>-エコクラブを実施して行く中で、候補者は出てきている。</p> <p>-研修修了証書は、第1回セミナーでは発行されている。第2回は発行されているが、参加者に配布はされていない。</p> <p>-国立公園局及び生態省が主体となって実施したものは、各1回計2回実施されている。</p> <p>-この際、国立公園局は、対象地域の特性や状況を考慮した新しいプログラムを作成し、関係NGOから講師を招いて実施した。</p> <p>-これまでに、環境教育セミナーに参加した学校教員の数は82名である。このほか、州立公園のレンジャー、国境警備隊環境レンジャー、国立公園局C/P、現地業務従事者（州立公園レンジャーに来年から採用される予定）など（計10名程度）も参加している。</p> <p>達成度</p>
<p>成果3</p>	<p>指標</p>	<p>指標入手手段</p>	<p>達成度</p>

<p>パイロット事業の実施を通じて、地域住民における自然資源の持続的利用の知識及び経験が蓄積される。</p>	<p>3.1 パイロット事業計画書</p>	<p>・事業計画書</p>	<p>-2005年3月に同計画書は作成されている。 -ただし、同計画書においては、責任の所在（責任機関）や運営における各機関の役割分担詳細、資金計画（予算措置）、収入の用途等に関する計画は記載されていない。プロジェクト後半期間においてこれららの点を議論し、明確にしておく必要がある。 -同パイロット事業は、現在準備段階であり、実施段階には至っていない。そのため、参加機関・者数は現時点では未定である。 -準備の一環として、プロジェクトではなく地元のエニシアシアティブにより、観光協会の設立準備会合を3回ほど行っている（隔週1回火曜日開催）。今後、どのような活動をしていくかを検討していく。参加している民間団体としては、マテ茶工場（観光工場）、個人エコツアーリズム業者、観光業に関心を持っている人たち、地元ラジオ関係者などがある。暫定的な代表者・副代表者も決まっております。 -上記の通り、実施段階に至っていないため、現時点では同指標に関するデータはない。</p>	
<p>プロジェクト目標</p>	<p>3.2 パイロット事業への参加機関数・参加者数</p>	<p>・事業計画書</p>	<p>-同パイロット事業は、現在準備段階であり、実施段階には至っていない。そのため、参加機関・者数は現時点では未定である。 -準備の一環として、プロジェクトではなく地元のエニシアシアティブにより、観光協会の設立準備会合を3回ほど行っている（隔週1回火曜日開催）。今後、どのような活動をしていくかを検討していく。参加している民間団体としては、マテ茶工場（観光工場）、個人エコツアーリズム業者、観光業に関心を持っている人たち、地元ラジオ関係者などがある。暫定的な代表者・副代表者も決まっております。 -上記の通り、実施段階に至っていないため、現時点では同指標に関するデータはない。</p>	
<p>課題</p>	<p>3.3 パイロット事業により得られたデータ項目数・量</p>	<p>・事業報告書及び研修参加者へのアンケート・インタビュー調査</p>	<p>-上記の通り、実施段階に至っていないため、現時点では同指標に関するデータはない。</p>	
<p>プロジェクト目標</p>	<p>プロジェクト地域¹における国立公園局(APN)、州政府(MERNRYT)及びアンドレシエートの職員の自然環境管理能力が向上する。 *1 プロジェクト地域:グリーンコリドー北部地域の保護区とそのバッファゾーン。</p>	<p>指標 (期待される結果)</p> <p>① APN 職員の自然環境管理能力² (段階評価一特に成果1) *2 自然環境管理能力:本プロジェクトでは3つの期待される成果に集約された7つの具体的能力を表す。</p> <p>② MERNRYT 職員の自然環境管理能力 (段階評価一特に成果1, 2)</p>	<p>情報源</p> <p>成果の達成状況を示す個別指標から作成する総合指標。 1.1 活動計画書 1.2 活動報告書 1.3 職員へのアンケート・インタビュー調査 1.4 訪問者・関係者へのアンケート・インタビュー調査</p>	<p>評価結果</p> <p>-現時点においては、指標に設定されている段階評価は実施されていないが、今後能力度向上を測るための評価フォームを作成する。 -APN 職員 (C/P) の能力は向上していると評価されると評価される。例えば、アンドレシエート (バッファゾーン) に関する動植物自然環境情報収集に積極的に参加し、コーディネート (パートナー) を担当したり、500軒の情報調査を現地業務従事者とともに同行し、直接調査活動に携わった。またアブラジルの2国間研修のコーディネートを担当するなどの経験を積んでいる。 -その経験を活かし、2005年5月には独自でAPN局内のGPS研修を企画し、国立公園のレンジャーや国境警備隊を対象に実施している。 -また、最近では、自然環境管理に対する意識が向上し、プロジェクトに積極的に携わるようになり、定期的にアンドレシエートのプロジェクト事務所足を運ぶようになった。</p> <p>-段階評価については、APNの場合と同様の状況である。 -プロジェクト事務局長 (C/P) は、コーディネーションを積極的に進めているほか、カレンダーなどのデザインも担当した。能力の向上が見られる。 -また、国立公園のレンジャーについては、環境教育、自然環境調査に参加する機会を得て、データを手にすることができ、今後各自の活動において活用する意欲を示している。 -生態省本省 (ポサードス) においては、長官、総局長などがバッファゾーン (プロジェクトサイト) に対する関心を高めており、優秀なレンジャーを同地域に配置する意図を示している。</p>

		<p>③ アンドレシメント市職員 の自然環境管理能 力度(段階評価一特に 成果3)</p>	<p>同上</p>	<p>-段階評価については、APN の場合と同様の状況である。 -市役所の C/P は、積極的に生態省、国立公園局とコンタクトを取ろうという意欲が高ま っているほか、情報収集・発信についてもイタターネットを活用して積極的に実施して いく意向を示している。また、プロジェクトに関するプレゼンテーション資料をパワー ポイントで作成し、関係者以外に紹介するプロジェクト紹介を自発的に実施している。 -州政府(生態省)や国立公園局との連携が生まれたことを前向きに捉えており、今後も 積極的に連携強化を図っていく意向を示している。 -市の観光開発方針はプロジェクト開始前はなかったが、現在は文書としてまとめている。</p>
<p>上位目標</p>	<p>イグアス国立公園及び州 立保護区の管理が改善さ れ、グリーンコリドーに おける自然環境保全が強 化される。</p>	<p>① 環境負荷要因(密猟・ 違法伐採の回数等) が、プロジェクト終了 時をベースラインとし て5年後に減少し ている。 ② 保護区内において指 標種(例:ジャガー等) がプロジェクト終了 時点から5年間は確 認できる。 ③ 持続的に自然資源を 活用した経済活動(ア グロ・エコツーリズム 等)件数や収入が、プ ロジェクト終了時を ベースラインとして5 年後に増加している。</p>	<p>1. APN、MERNRYTに よるモニタリング報 告書 2. APN、MERNRYTに よるモニタリング報 告書 3. 実施機関職員、地域 住民へのアンケート ト・インタビュー調 査</p>	<p>-指標入手方法として、主に経済状況の悪化から、定期的なモニタリングが行われていな いことが現時点における問題点であることがわかった。ただし、これらの指標は基本的 にはアルゼンチン側にとつて馴染みのあるものであり、各指標についてのデータ収集及 び記録の責任機関が決まっている。 -指標3については、エコツーリズムの件数については調査により比較が可能と思われる が、収入についてはデータ取得が困難であり、またプロジェクトとの関連を明らかにす ることが困難であることから、指標の設定を見直す必要がある。 -現時点においては、いずれの指標についても、特に大きな改善も悪化も見受けられない。</p>

評価グリップ

5項目その他の基準 実績の検証	評価設問		判断基準・方法	結果
	大項目	小項目		
	投入は計画どおりか	日本側投入	計画値と比較して大幅な乖離がない、投入の実績による、活動への支障を来たしていない	<ul style="list-style-type: none"> - 16名の短期専門家が派遣されている。派遣のタイミン、専門分野の選択、技術レベル、専門家の人数などについては、概ね適切でありアルゼンチン側の評価も高い。 - 2004年度には2名のC/Ps(生態省1名、国立公園局1名)を本邦研修に受け入れた。また、類似プロジェクト訪問研修として、環境教育及びパイロット事業について、3名のC/Ps(生態省1名、アンドレシート市2名)をブラジル・セラード生態コリド一保全計画他の視察研修に派遣した。派遣のタイミン、研修項目の選択、技術レベルの設定、派遣期間などについては適切であった。 - 機材については、移動用小型テント、建設器具、記録用機材(デジタルカメラ、ビデオなど)など約482.2万円相当が供与されている。また、JICAアルゼンチン事務所において、車輜やPCなど事務機器が調達され、供与されている。いずれも、概ね適切なタイミンで供与・設置されている。また、管理については、日本人専門家の責任の下に管理されており、プロジェクト後半期間においてはアルゼンチン側による管理の仕組みを構築する予定である。 - 現地業務費については、2004年度(2005年3月末まで)に約865万円が支出されている。
		アルゼンチン側投入	(同上)	<ul style="list-style-type: none"> - C/Pとして、生態省がプロジェクト事務局を新たに1名雇用した(1年ごとの契約)。国立公園局は、プロジェクト専属職員を2名配置したが、1名は異動となり現在は1名が配置されている。アンドレシート市は、C/Psを2名配置している。このほか、3つの各C/P機関より兼任のC/Pが配置されており、計21名に上っている。いずれも意欲、能力の面において適切な人材が配置されている。しかし、必要業務量を考慮した場合、4名のC/Psでは不十分であり、プロジェクト後半期間においては有効性及び効率性向上のためC/Pの増員が望まれる。 - 施設・設備については、生態省はパイロットプログラム実施に際して使用を許可するという形で、サイトの土地と建物を供与している。また、生態省はプエルトイグアスに調整用事務所スペースを提供しているが、実際の調整業務はイグアス国立公園管理事務所において行われることが多い。アンドレシート市はプロジェクト事務所の改築、会議室・セミナースペースを提供している。3つのC/P機関による投入総額は、約10万4千ペソとなっている。 - ローカルコストについては、各C/P機関は、C/Pの配置による人件費、業務にかかる出張手当、車輜燃料代などを負担している。 - しかし、燃料代、出張手当については制限があり、頻繁な移動や宿泊を伴う活動の実施は困難である。加えて、関係機関が地理的に離れた場所に分散しているため、円滑な情報交換や議論に支障を来している。

			目標値と比較して、大幅な乖離がない(評価時点までに想定される目標値と比較) (同上)	<ul style="list-style-type: none"> - 成果1及び2については、ほぼ計画通りに産出されている。成果3については、宿泊サイトの選定に関する合意形成、州政府からの使用許可取得などにおいて、当初計画から大幅に遅れた。そのため、パイロット事業計画の作成に遅延が生じたが、日本人専門家の派遣期間を延長して対応した結果、遅れを取り戻すことができた。 - これまでのところ、活動に大幅な遅延は生じておらず、またアウトプットもほぼ計画通りに産出されていることから、プロジェクト終了時までにはプロジェクト目標は達成される見込みである。 - 進捗については、概ね計画通りである。プロジェクト前半期間においてはC/P機関間の合意形成に時間がかかり遅れがかった時期もあったが、合意形成に時間を費やした分、現在は機能しており、進捗も加速され、結果的には有効性を増している。 - C/P機関間及びC/P間の、本プロジェクトにおける役割分担が明確化されておらず、プロジェクト活動の円滑な実施に向けて解決すべき課題である。 - これまでのところ、活動に大幅な遅延は生じていない。 - また、C/Pの理解度・能力も全体的に向上している。 - 技術移転の方法は、全体的には概ね適切と判断された。プロジェクト後半期間においては、各活動にたいするC/P間及びC/P機関間の役割と責任の分担を明らかにし、効率性を向上するとともにプロジェクトの自立発展性を確保することが必要である。 - これまでにJCCを2回開催されており、2005年8月には本中間評価調査と時期を同じくして第3回目が実施される。WG会議は2004年7月に設立されて以降、概ね2ヶ月に1回のペースで開催しており、2004年7月、8月、11月、2005年3月、7月の計5回が開催されている。
アウトプットは計画通り産出されているか				各活動にモニタリング担当者が配置されている、モニタリング様式及びモニタリング結果の処理方法について合意され、実施されている、関係者による会議が定期的に実施されている
プロジェクト目標達成の見込みはあるか				
実施プロセスの検証	活動は計画通りに実施されているか	進捗に問題はないか。ある場合、それは何か。	当初スケジュールと比較して大幅な乖離がない	
	技術移転の方法に問題はないか	ある場合、どの分野におけるどの技術移転方法に問題があるか。その解決方法(案)。	進捗の大幅な遅れがない、C/Pの理解度・能力が深まっている	
	プロジェクトのマネジメント体制に問題はないか	モニタリングの仕組みが構築されているか。		

プロジェクト内のコミュニケーションは、円滑に行われているか。	コミュニケーションに起因する問題が生じていない、活動が順調に進捗している、政策面及び資金面で政府・関係省庁の支持を得ている	<ul style="list-style-type: none"> - プロジェクト関係機関の事務所は、プエルト・イグアズ市及びアンドレス市市内の7箇所に分散しており、また、通信面における制約が多かったことにより、プロジェクト開始当初にはプロジェクト内部のコミュニケーションが困難な状況であった。しかし、プロジェクト前半期間を通じて各事務所の通信設備が改善され、電話、ファックスが設置された。また、アンドレス市のプロジェクトオフィスの設置もファックス、インターネット、電話、無線が配置されたことから、現在通信状況は格段に向上している。こうした物理的な改善のほか、プロジェクトサイトにおいては、定期的なミーティングをほぼ毎週実施しており、C/Ps と JICA 専門家の間での情報共有に努めている。 - これらの改善により、コミュニケーション面における制約は減少し、現在はコミュニケーション不足や欠如による重大な問題は生じてはいない。また、情報共有やコミュニケーションを一層改善する目的で、プロジェクト関係者のメーリングリストを通じて送受信される Eメールの確認や対応方法についての内規を定める予定である。 - しかし、プロジェクト前半期間においては、C/Ps と JICA 専門家の間で本プロジェクトの実施詳細計画が共有されていなかったために、アルゼンチン側の本プロジェクトに対する予算措置ができなかったケースがあった。
意思決定は円滑に行われているか。	プロジェクト実施機関内の意思決定が迅速に行われる	<ul style="list-style-type: none"> - 意思決定に関する機関・職員が、プエノスアイレス市、ポサダス市、アンドレス市に分散しているため、コミュニケーション、調整に時間がかかり、円滑な合意形成と意思決定に時間がかかる面はある。しかし、各機関の担当者はそれぞれの機関の意思決定責任者（大臣、総裁、市長）へのコンタクトラインを持っており、各 C/P 機関内部に到達してしまえば、意思決定は円滑に行われる。
JICA 本部及び在外事務所との連絡・協力体制は整備されているか。	連携・協力不足に起因する活動の遅延等がない	<ul style="list-style-type: none"> - JICA 本部及びアルゼンチン事務所からは十分な支援・助言等を得ており、連携・協力不足に起因する活動の遅延等は生じていない。
アルゼンチン側 C/P 機関間の連絡・協力体制は整備されているか。	(同上)	<ul style="list-style-type: none"> - 上記の通り、3 つの C/P 機関間の連絡・協力は比較的時間がかかる場合が多い。ただし、これまでのところ、同要因に起因する大幅な活動の遅延、支障は生じていない。

	実施機関やカウンターパートに対する認識は高いか	関係省庁は、高いオーナーシップをもって取り組んでいるか。	予算措置状況に起因する活動の遅延その他の支障が生じていない、その他必要な支援がタスキミングよく行われている	<ul style="list-style-type: none"> - 全体的にオーナーシップは向上している。 - 国立公園局においては、職員（レンジャー）の増員を行う、イグアス国立公園の周辺住民との協働を促進するための新しい部署を設立する、ジャクイ事務所を建設するなどを計画しており、本プロジェクトの実施を円滑にし、プロジェクト終了後も成果を十分に活用できる体制を整備するものと期待できる。 - 生息省は、エコツアーの開発に大臣レベルでの関心が高く、パイロットプロジェクトの土地提供、木の伐採許可などへの迅速な対応を行った。また、パイロット事業地への人員配置や、プロジェクトへの優秀なレンジャー配置（1名）を予定している。 - 市役所については、調整事務所の建設など自主的に実施したほか、車輛の提供、資材の提供なども意欲的に行っている。また、担当職員の関わり（アイデア出しなど）も深まっている。このほか、パイロット事業地近隣に市有地（10ha）の土地をパイロット事業地と連結して、将来的に市民の森として保全していくことを検討し、自発的な動きを始めている（知事へのコンタクトなど）。国立公園局との連携により、国立公園の東側における観光関連活動の実施についても意欲を示している。ウルグアイ国立公園以外の州立公園についても開放し、観光資源として保全しつつ活用して行く考えを持っているほか、イグアス川のほとりに展望台として整備する、市民苗畑を整備するなど多数のアイデアを持っている。 - 生息省は、事務局長職の専属職員をC/Pとして雇用・配置している。また、国立公園局は本プロジェクトのC/P職員1名を配置している。このほか、3つのC/P機関からJCC及びWGのメンバーが選出・配置されて、部分的にであるがプロジェクトに参加している。
	適切なカウンターパートが配置されているか	実施機関のオーナーシップ（C/Pの配置状況、外部関係機関との連絡・調整など）	C/P配置に対する配慮がなされている、活動内容に高い関心を示している、連絡・調整の対応が早くて的確である	<ul style="list-style-type: none"> - C/Pの能力は総じて高い。ただし、必要業務量を考慮すると、人数面においては不十分である。現在は、3機関より4名のC/Psが配置されており、JICA専門家と共に活動している。 - C/Pの配置に起因する活動の大幅な遅延・支障等は、これまでのところ生じていない。
	ターゲットグループや関係機関のプロジェクトへの参加度合いやプロジェクトに対する認識は高いか	プロジェクトの業務量及び業務内容に見合った能力のあるC/Pが十分な人数配置されているか。	関係省庁、地域住民などに事業内容が認知されている、関係機関等との情報交換や共同企画等の動きがある（他ドナー、環境NGOなどを含む）、必要な会議等に出席している	<ul style="list-style-type: none"> - C/P機関関係者は、定期的にJCC及びWGに参加している。 - 500軒調査により、グリーンコリドー北部地域のプロジェクト対象地域においては、400～500人に本プロジェクトのパンフレットを配布しており、少なくともこれらの人々には事業内容が理解されているものと思われる。

	その他、プロジェクトの実施過程で生じている問題はあるか。	ある場合、その原因は何か。		- 特になし。
妥当性	必要性	プロジェクトは、対象国の地域・社会のニーズに合致しているか		<ul style="list-style-type: none"> - 本プロジェクトサイトは、イグアス国立公園の東に隣接しており、国立公園のバッファゾーンとしての自然環境保全の重要性が高い地域である。一方で、同地域は貧困度の高い地域である。 - したがって、同地域においては、単に規制により地元住民の、自然資源を利用した（間違った方法で利用する、つまり自然資源を破壊する）経済活動を制限するだけでは効果的な自然環境保全は実施が難しい。逆に、自然環境を保全し、それを生活水準向上のための資源として適切に活用することにより、貧困状態から脱出できる方法を提示できれば効果的であると思われる。 - 本プロジェクトは、同地域における自然環境の現状を把握し、関係各機関の連携・協力を強化し、自然環境を保全しつつ地域資源を活用した経済活動の形態を模索するものであり、対象国及び地域のニーズに合致しているといえる。
		ターゲットグループのニーズに合致しているか		<ul style="list-style-type: none"> - 国立公園局及び生態省は、それぞれ国、州レベルで自然環境管理を管轄する機関である。グリーンコリドー地域の環境保全・管理は、これら2機関にとって重点課題の1つである。 - 一方、アンドレシート市は地元住民のために経済活動を発展させる必要性を認識している。同市はグリーンコリドー地域に一部属しており、自然資源が豊かであることから、これを資源としたエコツーリズム開発により、地域の収入源を開発することを検討している。 - このように、本プロジェクトは3つのC/P機関全てのニーズと整合している。
優先度		アルゼンチン国及びミシオネス州の開発政策との整合性はあるか		<ul style="list-style-type: none"> - 国レベルでは、アルゼンチン国は生物多様性条約を始めとする各種環境保全条約を批准しており、イグアス国立公園は特に重視されている。国立公園は、地域住民に資するべきとする政策に基づき、国立公園局は近年バツファゾーンの環境管理に力を入れ始めている。その関係で、イグアス国立公園は近隣のコミュニティとの協働を促進するため、新たな部署を設置している。また、同局は現在スペインの支援による新たな国際協力プロジェクトを形成中であるが、本プロジェクトと重複しないよう十分な配慮がなされている。 - ミシオネス州は観光開発と環境保全に力を入れており、これら2つの側面の調和の取れた発展を政策の1つとしている。 - アンドレシート市は、豊かな自然環境を活用した観光開発の潜在的可能性及びニーズを認識しており、最近いくつかの施策案を作成している。
		日本の援助政策・JICA 国別事業実施計画との整合性はあるか		<ul style="list-style-type: none"> - JICA は近年、アルゼンチンに対する協力分野として、経済再生、社会開発、環境保全、南南協力の推進及び日系人支援の5つの分野を重点分野としている。本プロジェクトは5つの重点分野の1つである「環境保全」に関するものであり、アルゼンチンにおける JICA の援助方針と一致している。

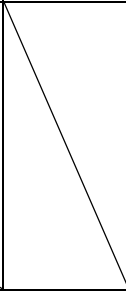
	手段としての適切性: プロジェクトは、イグアス国立公園及び州立保護区の管理が改善され、グリーンコリドーにおける自然環境保全を強化するのに適切かつ効果的な戦略であるか	プロジェクトのアプローチ及び対象地域は、適切な選択か。 近隣地域で実施されている JICA の他のプロジェクトとの協力・連携は、適切に行われているか。その結果、何かしらの効果を上げているか。	本プロジェクトのアプローチは、他地域にも適用することができる、対象地域のニーズに合っている、JICA の他のプロジェクトと活動内容に重複がない、他のプロジェクトと協力は交流している	<ul style="list-style-type: none"> - ミシオネス州知事は、JCC において、本プロジェクトから開発と環境保全のバランスを取る方法を学び、本プロジェクトの教訓を州内他地域で類似の問題に直面している地域に適用したいとの意向を示している。 - 本プロジェクトは、C/Ps の能力向上と適切な仕組みの確立を通じて、収集・更新した自然環境情報及びビデータに基づいた環境管理を促進するものである。こうしたアプローチはミシオネス州グリーンコリドー北部地域において広く適用できるものである。 - 他の JICA プロジェクトは近隣で実施されておらず、重複はない。また、本プロジェクトは、ブラジル・セラード地域の環境管理プロジェクトへの視察研修受け入れなどのサポートを受けている。 - スペイン、カナダなどがプロジェクトサイト近隣においてプロジェクトを形成している。現在は準備中（プロジェクト形成中）であり、協調等は行っていないが、今後連携・協力の可能性はある。 - 国立公園局は、国立公園、国立保護区における自然環境保護活動の実施及び監理を行っている政府機関である。同局は、大統領府内の観光庁の下部組織であるが、独立した権限と予算を有し、全国 34 保護区を管轄している。全国 30 以上の管理事務所を所管し、スタッフを配置している。 - 生態省は、環境分野における政策立案を行うのみでなく、野生動植物の保護や環境教育活動、国立保護区の運営など、本プロジェクトの活動に密接に関連する機能を持っている。また、グリーンコリドー業務を担当する特別ユニットが設置されており、レンジャーも配置されている。 - アンドレシエータ市は、本プロジェクトの対象地域を広くカバーしている。 - 本プロジェクトは、狭義には、3 つの CIP 機関に対して研修等を通じた技術向上を図るものであるが、環境 NGO や学校教員などに対する普及・教育活動やパイロット事業の実施を通じて、地域住民・観光客の意識啓発活動を行うものでもある。 - したがって、本プロジェクトの枠内においてもターゲットグループ以外への波及効果が期待できる。 - ただし、これまでどことなく上記活動が仕組み（制度）として確立するには至っていないことから、プロジェクト終了時点で普及の仕組みを整備する必要がある。 - 研修参加者の募集・選定などにおいても偏りが出ないよう配慮している。 - パイロット事業実施に際しては、プロジェクトサイトの先住民にもコンタクトをとり、実施過程に巻き込んで行く予定である。 - ブラジル・セラード生態系計画など、生態系保全分野における類似協力を実施しており、知識と経験を蓄積している。また、日本の保護区管理体制は地域住民や地元機関、行政などが国の機関と協力して自然環境を管理していく方法であり、本地域におけるパップゾーン管理の方法に適している。
	他のドナーとの援助協調及び相乗効果が期待できるか。	技術的・物理的優位性を有している、技術普及できる仕組み・規模・行政的又は法的的位置づけを有している、活動実施に過不足のない人数が配置されている	技術的・物理的優位性を有している、技術普及できる仕組み・規模・行政的又は法的的位置づけを有している、活動実施に過不足のない人数が配置されている	
	ターゲットグループの選定は適正か（対象、規模など）	ターゲットグループ以外への波及性はあるか	普及の仕組みが整備されている、プロジェクトへの評価・関心が高い、技術がアルゼンチン国内全土に普及可能である	
	効果の受益や費用の負担が公平に分配されるか	効果の受益や費用の負担が公平に分配されるか	受益者設定に偏りがない、プロジェクト成果の実用に制限が設けられていない	
	日本の技術の優位性はあるか	類似の協力事例がある、国内における技術的蓄積がある	類似の協力事例がある、国内における技術的蓄積がある	

	その他	プロジェクト開始以降、プロジェクトを取り巻く環境（政策、経済、社会など）の変化はないか			プロジェクト開始以降、アルゼンチン国の経済が向上している。また、観光客が増加しており、物価も上昇している。 - アンドレシート市を訪れる人も増えて、C/P 機関や地元住民の本プロジェクト（特にハイロットプロジェクト）に対する関心も高まった。
有効性	アウトプットは達成されているか	プロジェクト目標の達成予測： プロジェクト地域における国立公園局(APN)、州政府(MERNRYT)及びアンドレシート市の職員の自然環境管理能力が向上する。			(添付資料2を参照のこと)
		① APN 職員の自然環境管理能力度（段階評価－特に成果1）	プロジェクト開始前と比較して向上している		- 段階評価はこれまでどこの実施されておらず、現時点において同評価の結果に言及することはできない。本中間評価修正後すぐに、プロジェクトは C/P の能力向上に関する評価シートを作成する。 - 全体的には、国立公園局 C/P の能力は向上を見ている。詳細については、添付資料2「達成度グリッド」のプロジェクト目標指標1に該当する欄を参照のこと。
		② MERNRYT 職員の自然環境管理能力度（段階評価－特に成果1, 2）	同上		- 段階評価については、上記国立公園局と同様である。 - 全体的には、生態省 C/P の能力も向上している。詳細については、添付資料2「達成度グリッド」のプロジェクト目標指標2に該当する欄を参照のこと。
		③ アンドレシート市職員の自然環境管理能力度（段階評価－特に成果3）	同上		- 段階評価については、上記国立公園局と同様である。 - 全体的には、アンドレシート市 C/Ps の能力も向上している。詳細については、添付資料2「達成度グリッド」のプロジェクト目標指標3に該当する欄を参照のこと。
		プロジェクト目標の達成を阻害する要因はあるか			- プロジェクト開始当初においては、通信網など基本的なインフラの未整備により、プロジェクト内部及びプロジェクト外部との情報アクセスが非常に限られており、このためコミュニケーションや調整に時間がかかり、時には活動の遅延を生じることもあった。しかし、現在は改善されている。 - ただし、プロジェクトの詳細実施スケジュールが JICA 専門家と C/Ps の間で適切に共有されておらず、そのためアルゼンチン側が本プロジェクトに要する予算を適切な時期に措置できなかったことがあった。 - C/Ps による情報収集には、時間的及び技術的な制約がある。 - 道路アクセスは一部舗装により改善されたが、特に雨天には移動が困難になる。 - 現時点では、特になし。
	因果関係	アウトプットは、プロジェクト目標を達成するために十分であるか			- 観光がなぜ自然保全につながるか、についての C/P 機関スタッフや地域住民の理解を一層深める必要はある。 - 外部条件が満たされれば、アウトプットはプロジェクト目標達成に十分である。外部条件はマイナスイナスには作用しておらず、現時点ではむしろプラスに作用している。

			アウトプットからプロジェクト目標に至るまでの外部条件は、現時点において正しいか。外部条件が満たされる可能性は高いか。						- 外部条件は現時点においても正しく、これまでのところ満たされている。
効率性									
	アウトプットの達成度		アウトプットの達成度は適切か		目標値に沿った実績を上げている				- (添付資料2 参照のこと)
			アウトプット達成を阻害した要因はあるか						- いずれのC/P 機関においても職員数が限られており、本プロジェクトのC/Pについても主なC/Pとしては、各機関から1-2名、計4名が配置されているのみである。
			アウトプット達成を促進した要因はあるか						- 本プロジェクトに対して、関係各方面より高い関心を得ている。
	因果関係		アウトプットを産出するため十分な投入であったか		投入の不足或いは不適切性に起因する遅延その他の支障が生じていない				- 日本側、アルゼンチン側ともに必要な投入が行われており、全体的には投入に起因する大幅な活動の遅延、その他の支障は生じていない。 - ただし、前述の通り、主なC/Pの数は十分とはいえない状況であり、業務量に対して不足している。
	タイミング		計画に沿って活動を行うために、過不足ない質・量の投入がタイミングよく実施されたか。実施されているか。		計画に沿ったタイミングで投入が実施されている、タイミングの不適切性に起因する遅延その他の支障が生じていない				- 投入は、概ね計画通り実施されており、タイミングにおいて問題は生じていない。
	コスト		類似プロジェクトと比較して、総投入コストは妥当であるか。		類似案件の総投入コストと比較して大幅な乖離がない				- 記述の通り、本プロジェクトは環境教育やエコツアーリズム振興などの活動面、また、グリーンコリドー地域を対象地域としている点においてブラジル・セラード生態コリドー保全計画と類似している。しかし、背景やプロジェクトの考え方において異なる点があり、両者の総額を単純に比較しプロジェクトの効率性を判断することは非常に困難である。

インパクト	上位目標の達成予測： イグアス国立公園及び 州立保護区の管理が改 善され、グリーンコリド ーにおける自然環境保 全が強化される。	① 環境負荷要因（密猟・ 違法伐採の回数等） が、プロジェクト終 了時をベースライン として5年後に減少 している。 ② 保護区内において指 標種（例：ジャガー 等）がプロジェクト 終了時点から5年間 は確認できる。 ③ 持続的に自然資源を 活用した経済活動 （アグロ・エコツー リズム等）件数や収 入が、プロジェクト 終了時をベースライ ンとして5年後に増 加している。	① プロジェクト終了時 点とその5年程度後 の比較 ② プロジェクト終了時 点から5年間の指標 種確認結果 ③ 当該活動の件数、収入 等の、プロジェクト 終了後5年後との比 較	- 現時点においては、上位目標の達成につながるようなインパクトは確認されていない。 - これまでの進捗及びC/P 機関や地域住民の関心の高まりから判断すると、プロジェクトが成功裏に終われば、上位目標は将来的に達成されることが期待できる。
		上位目標の達成を阻害 する要因はあるか		- 現時点では、特になし。
	因果関係	上位目標とプロジェクト 目標は乖離していな いか		- 本プロジェクトは、自然環境が優先する国立公園から、人間活動が盛んな地域社会 に至る自然環境勾配に合わせて取り組む内容が細分化されている。プロジェクト目 標である「3つのC/P 機関の自然環境管理能力向上」は、上位目標である「緩衝領域 やグリーンコリド一の自然環境保全」の達成に必要な条件であり、両者は乖 離していない。 - 当該外部条件は、既存PDMにおいては2つ設定されているが、いずれも文頭に“プ ロジェクト期間中”との文言がある。本来この欄に記載される外部条件は、プロジ ェクト目標が達成された後、つまりプロジェクト終了後のことを指すので、時間設 定の点において修正が必要である。
	波及効果	上位目標以外の効果・影 響が想定されるか。特に マイナスの影響につい ては、それを軽減するた めの対策は採られてい るか。	実施 前と比較して、実施 後に変化がみられる	- 本プロジェクトは、地域住民の環境保全意識の向上に重点を置いた活動を行い、同 活動を通じて自然環境保全を目指すものである。特にパイロット活動については、 環境へのマイナスのインパクトを減じる方法を十分に考慮した方法で実施してい る。したがって、対象地域に対してマイナスの影響を生じる可能性は少ないと考え られる。これまでのところ、マイナスの影響は出ていない。

			ジェンダー、民族、社会的階層の違いにより、異なるプラズマ・マイナスの影響はあるか	(同上)	<ul style="list-style-type: none"> - 自然環境保全と経済活動の間には利害関係者間の対立が生じやすいが、本プロジェクトではパイロット事業の実施、つまりこれら2つの側面を調和させる方法を提示することによって対立を緩和させるよう努めている。また、今後は幅広い社会階層（ジェンダー、民族、階層などの面）を対象としていく予定であり、持続可能性を減少させる要因とはならないと思われる。 - 特になし。
自立発展性	政策・制度面	<p>政策支援は協力終了後も継続するか。</p> <p>関連規制、法制度は整備されているか。整備される予定か。</p>	<p>その他のマイナスの影響はあるか。それを取り除くための方策は何か。</p> <p>政策支援は協力終了後も継続するか。</p> <p>関連規制、法制度は整備されているか。整備される予定か。</p>	<ul style="list-style-type: none"> - ミシオネオス州には、68箇所、約77.9万haの保護区（2004年10月時点）がある。 - 国立公園局は、パラナ密林の保全政策を70年に渡り実施している。 - ミシオネオス州政府は、生物多様性保全に基づく環境政策を重視して、1992年にミシオネオス州自然保護区法が他州に先駆けて公布され、保護区の管理体制の整備が企画された。森林法、野生動物関連法、自然保護区法など環境関連の法令が公布されており、グリーンコリドー法も公布されている。 - 中央政府、州政府共に様々な環境保全に関する決定や提案を行っている。中央政府は、国際協力事業に関する意思決定と監理を行う機関として法的に定められており、この目的のために国立公園局が設置されている。同局はパラナ密林など、アルゼンチン国のエコシステムの保全に取り組んでいる。 - 各組織ともに人員配置、予算措置などの面において、組織として確立している。したがって、各々が分担された役割を担っていく分には十分な組織能力を有していると思われる。 - ただし、本プロジェクトでめざす3機関の連携による活動の実施を考慮した場合に、より一層の連携・協力の仕組みの確立が必要であり、プロジェクト後半期間における課題である。 - 国立公園局及び生態省については、内部に知識普及やそのためのトレーニングのしくみがある。国立公園局C/Pによる内部研修（国立公園レンジャーを対象としたGPS研修など）の事例がある。一方、アンドレシエート市については、同様のしくみはないが、非公式な形での知識普及は時々行われている。 - 今年度、生態省内部ではレンジャー研修などを始めた。 	
	組織・財政面	協力終了後も、効果を上げていくための活動を実施するに足る組織能力はあるか。	活動成果を研修・普及していくための組織的枠組みは整備されているか。		

		<p>必要な事業計画(短期・長期)を整備しているか。</p>		<ul style="list-style-type: none"> - ジャクイ事務所の利用方法(どのような活動を行うかなど)については、2006年3月までの計画について提案書が準備されている。現在、C/P 機関からのコメントを収集している段階である。 - APN は、定期的に3種類の計画を作成している。第一は、APN 全体についての基本方針であり、同方針は総裁の任期を対象期間としている。第二は、各国立公園が作成する5カ年計画であり、イグアス国立公園も作成している。第三は、各国立公園の主要な部署が作成する2カ年実施計画(活動計画を含む)である。イグアス国立公園については、5カ年計画を更新している段階であり、次期計画には本プロジェクトに関する計画が盛り込まれる予定である。また、同公園の2カ年実施計画には、既に本プロジェクトに関する計画が盛り込まれている。 - MERNRYT は、10カ年管理計画及び年間活動計画を定期的に作成している。ただし、本プロジェクトの対象地域を管轄するウルグアイ国立公園では10カ年管理計画のみ作成しており、現計画作成時はプロジェクト開始以前であったため、現計画には本プロジェクト関連の活動は盛り込まれていない。 - アンドレシエート市については、同様の計画は有していない。
		<p>実施機関のプロジェクトに対するオーナーシップは、十分に確保されているか。</p>		<ul style="list-style-type: none"> - 全体的にオーナーシップは向上しているといえる。本プロジェクトの実施に際して、投入(人員の配置を除く)や、各機関に割り当てられた役割に対する各機関内部での決定・許可等の対応が迅速であるほか、本プロジェクトと関連して更に活用するための計画案を検討するなどの動きが見られる。
		<p>経常経費を含む予算の確保は行われているか。予算措置は十分に講じられているか。</p>		<ul style="list-style-type: none"> - パイロットプロジェクトの実施に際しては、州政府が土地(住宅用地 6.5ha)の提供、職員及びコンサルタント(商業的な事業採算性調査を担当)の配置を行っているほか、市役所はトラクターの無料貸し出し、資材の提供及び作業員の投入を行っている。
		<p>将来の予算が増える可能性はどの程度あるか。予算確保のための対策は十分か。</p>		<ul style="list-style-type: none"> - このように、プロジェクトはC/P 機関より概ね適切な投入を受けている。パイロット事業の運営のための人員配置及び予算措置については今後の課題であり、各機関の役割分担、予算措置、収入の使途などについて検討していく必要がある。
<p>技術面</p>		<p>アルゼンチンにおいて適用可能かつ実用的な技術が移転されているか</p>		<ul style="list-style-type: none"> - 近い将来において、少なくとも現状は維持される見通しであり、近い将来増加する可能性もある。したがって、財政的な要因により現在実施中の活動の自立発展性が劇的に減じられることはないと思われる。各機関ともに活動継続への意欲は高いことから、プロジェクト終了後も必要な予算を措置していくことが期待できる。 - 本プロジェクトで移転している技術や手法は、ミシオネス州内のグリーンコリド地域においては、適用可能であり、かつ実用的なものであるといえる。 - パップアージーマンマネジメントの考え方や手法は、ミシオネス州の地域性のみに適用的なものではなく、アルゼンチンの他の州においても適用は十分に可能である。

			普及のメカニズムはプロジェクトに取り込まれているか。	関係者を対象とした研修実施の仕組みが、技術移転の仕組み・教材などが準備されている。	<ul style="list-style-type: none"> - 国立公園局及び生熊省は、内部に知識普及やそのためのトレーニングのしくみがあり、スタッフ間で技術や知識を共有する機会を設ける事例がある。例えば、生熊省が行ったセミナーや国立公園局 C/P による GPS 研修、情報共有セミナーなどである。アンドレシエート市については同様のしくみはないが、非公式な形での知識普及は時々行われている。 - HP の維持・更新については担当者を配置し、必要な情報の収集の仕組みを構築している段階である。
			関連機関との業務提携・連携関係が良好に維持され、発展していく見通しはあるか。		<ul style="list-style-type: none"> - 本プロジェクトにおいては、関係 3 機関の連携・業務提携を強化するコンポーネントが含まれている。現在、メカニズムを確立している段階であり、今後の発展が期待されている。
			C/P スタッフの多くが、プロジェクト終了後も実施機関に残る見通しはあるか。		<ul style="list-style-type: none"> - 主要な C/P は、プロジェクト終了後も実施機関において業務を継続することが予測される。また、州のレンジャーについても同様の見通しである。
			資機材の維持管理は適切に行われているか。	<p>機材利用台帳が作成・活用されている、各資機材につき管理担当者が配置されている</p>	<ul style="list-style-type: none"> - 現在は、日本人専門家の責任の下で供与機材の維持管理が行われている。機材リストが作成され、個数、到着日、設置・管理場所、及び利用状況が記載されている。 - ただし、日本人専門家の不在時には責任の所在が曖昧になることから、アルゼンチン側による資機材及び施設の維持管理体制を明確にする必要がある。現在は、事務所及び機材は現地従事者が、車輛は C/P が管理している。
社会・文化・環境面			女性、貧困層等への配慮不足により持続性を妨げる可能性はないか。		<ul style="list-style-type: none"> - 自然環境保全には利害関係者間の対立が生じやすいが、本プロジェクトではパイロット事業の実施によって対立を緩和させるよう努めている。今後は幅広い社会階層を対象としていく予定であり、持続可能性を減少させる要因とはならないと思われる。
			環境への配慮不足により、持続性を妨げる可能性はないか。		<ul style="list-style-type: none"> - 本プロジェクトは環境保全を目的とするものであり、配慮は十分になされている。特にパイロット活動については、環境へのマイナスのインパクトを減じる方法を十分に考慮した方法で実施している。したがって、持続可能性を妨げる可能性はない。
		その他	自立発展性を阻害するか。その他の要因はあるか。		<ul style="list-style-type: none"> - 特になし。

C/Ps アンケート結果まとめ

回収数： 8件

配布方法：プロジェクト調整員を通じて、3つのC/P 機関窓口（C/Ps）に配布の後、各機関内部で配布。

配布対象：関係者全21名のうち、本プロジェクトへの関与が深い者8名。

結果のとりまとめの方法：

- ・ 結果のとりまとめに当たっては、質問項目の要点を和訳したものに回答結果を盛り込む形を取った。
- ・ また、回答のない補助質問項目については、省略してある。
- ・ 質問項目の詳細については、別添の「C/Ps に対する質問票」（英文）を参照のこと。
- ・ 記述式回答部分については、意味不明確な点がある場合はインタビュー調査において補足質問した。補足部分については、（ ）内に記述した。

【投入について】

1. 日本人専門家（短期専門家を含む）派遣の方法について、数、専門分野の選択、能力、滞在期間及び派遣のタイミングは適切で、プロジェクトの効果的な実施に貢献しましたか？

	1)数	2)専門性	3)能力	4)滞在期間	5)タイミング
①適切	7	7	4	3	7
②普通	1	1	1	0	0
③不適切	0	0	0	5	1
無回答	0	0	3	0	0
計	8	8	8	8	8

「②普通」及び「③不適切」の理由

- ・ 1) 数について : 作業が多すぎる。
- ・ 2) 専門性及び 3) 能力について : ケースバイケース。
- ・ 4) 滞在期間について : 渡邊専門家の不在期間が長い。(→渡邊専門家が現地での業務を取りまとめているので、不在時には意思決定や業務遂行に時間がかかる。)
- ・ 5) タイミングについて : 官僚主義、コミュニケーションの問題。(→プロジェクト開始当初は、コミュニケーションが困難であった。主にスペイン語能力の不足のため、専門用語が使いこなせず、意識の統一が難しかった。現在は改善されてきているが、解決はされていない。)

2. アルゼンチン側投入の質、量及びタイミングは、適切でしたか。投入には、人員の配置、建物、設備など物理的投入及び予算措置が含まれます。

①はい	5
②いいえ	3
無回答	0
計	8

「②いいえ」の理由

- ・ 現場において能力のある人間が少ない。
- ・ 生態省及び国立公園局が十分な人員及び予算を提供しないため。
- ・ 従事人員が少ない（一人のみ）。現場に自動車が無い。

3. 日本側が供与した機材・設備について、その種類、質、量及びタイミングなどは適切でしたか。

	1)種類	2)量	3)質	4)タイミング
①適切	8	6	7	6
②普通	0	1	0	1
③不適切	0	0	1	1
無回答	0	1	0	0
計	8	8	8	8

「②普通」又は「③不適切」の理由

- ・ 2) 種類について : 情報機材不足。(→生態省、国立公園局にはノートパソコンが供与されたにもかかわらず、アンドレシート市には供与されなかった。公平に供与してほしい。)
- ・ 3) 質について : 市役所参加者に対する卓上コンピュータ及びノート型パソコンが無い。
- ・ 4) タイミングについて : メカニズムが非常に遅い。(→パイロット事業サイトの建設などで必要な機材・設備の購入の際、手続きに時間がかかった。3つのC/P機関とJICAで会議を重ねる必要があり、そのための連絡にも時間がかかった。パイロット事業であるため、3者間での検討プロセスも必要なプロセスであったとは思いますが、時間がかかりすぎた感がある。)

4. 日本の支援の方法(アプローチ)は、適切であると思われますか。

①はい	7
②いいえ	0
無回答	1
計	8

5. 本邦研修に参加しましたか。

①はい	2
②いいえ	6
無回答	0
計	8

1) 「①はい」と回答された方は、研修項目は何でしたか。

- ・ 自然保全

2) 本邦研修は、内容、カリキュラム、研修人数(クラスの大きさ)、期間及びタイミングの面において、プロジェクト活動の円滑かつ効果的な実施に貢献しましたか。

①はい	1
②いいえ	0
無回答	7
計	8

【進捗とプロセスについて】

6. あなたの勤務時間のうち、本プロジェクトに関する業務はどの程度の割合を占めていますか。(大体の割合で結構です。)

10%	4
30%	2
70%	1
無回答	0
計	7

平均 32.5%

1) 上記の割合は、業務遂行に十分ですか。

①十分	4
②十分ではないが、やりくり可能	3
③不十分	1
無回答	0
計	8

7. 本プロジェクトにおいて、あなたが担当している役割/活動はなにですか。

- ・ 管理委員会及びワークグループの全ての会議に出席。全ての管理手続きのカウンターパート、外務省及び JICA への書類及びフォームの提出。
- ・ 事務局長、報告書の作成、基本計画の作成、資材のデザイン、プレゼンテーション、セミナーの調整。
- ・ ローカル観光の開発。
- ・ 土地利用についてのアンケートに参加。
- ・ ワークショップ及びセミナーに参加。
- ・ 環境教育プログラム調整員。

・ 州政府及び中央政府に対する観光、環境及びスポーツへの取り組み。

・ 研修コースの実施。

・ スポーツ活動の開発、交流及びイベントの開催。

・ 環境教育に関するコンサルティング

・ 固有文化に関するコンサルティング

・ GPS 及びデータベース管理に対するコースの教師。

・ 自然環境管理に関するコンサルティング

(は、厳密には本プロジェクトの活動ではないが、連携可能な業務である。)

8. プロジェクト実施において、問題や困難なことはありましたか。

①はい	5
②いいえ	3
無回答	0
計	8

1) 「①はい」と回答された方は、それは何ですか。

- ・ 所属機関の任務により、プロジェクトへの従事時間が制限されているため。

- ・ 明確でない企画、人員不足、問題のあるコミュニケーション、明確でない予算。(→具体的な活動、指標、責任の所在が不明確。事業計画が不十分である。)
- ・ 他カウンターパート機関の公務員が不足している。
- ・ 十分な人員不足。

2) それをどのように解決しましたか／することができますか。

- ・ 作業を代行する。(→ C/P 配置を増員して、本プロジェクトについて自分が担っている業務を分担させる。)
- ・ コミュニケーション及び研修を計画し改良する。(→ コミュニケーションを改善し、業務に携わりながら能力を高めて行くことにより、改善する。)
- ・ 1人だけの案ではなく他の案の実行も可能でなければならない。(→ 生態省の声が大きく、他の C/P 機関の意見が通りにくい。各機関から 1名ずつではなく、数名ずつ C/P を配置し、毎日でなくても良いのでプロジェクト事務所において勤務することが必要である。)

9. 日本人専門家とのコミュニケーションは、円滑に行われていますか。

①非常に円滑	3
②普通	3
③困難	2
無回答	0
計	8

1) 「③困難」と回答した方は、どのような問題がありますか。また、そのためにプロジェクトにどのような影響がありましたか。

- ・ 主な問題は言葉で、考え方を理解する困難さである。(→概念的な話になると、互いに十分に理解し合えていない。)
- ・ コミュニケーション、プロセスの考え方、目的の異なったビジョン。(→日本人専門家のみの問題ではない。プロジェクト関係者全体にイえることである。報告・連携・相談の不足。)

10. 各活動は、プロジェクト目標達成に向けて十分な進捗をしていますか。あなたが実際に関わっている活動につき、お答えください。

「遅れている」との回答があったもの

活動1-2	2
活動2-2	3
活動2-3	1
活動3-2	1
活動3-3	2
計	9

- ・ 活動 1-1 について：各々の機関が独立して管理しているのでまだ頻繁な情報の交流は行われていない。プロジェクトに専念従事する人員の不足及びメカニズム不足。(→ 各機関から情報データベースに関する担当者も配置

されていない。どのようなしくみで運営していくか、も決まっていない。意見交換が不十分で、意思統一がなされていない。）

- ・ 活動 1-1 について：参加不足。人員の研修。診断不足。
- ・ 活動 1-1 について：チーム作業を行わない文化が長年続いている。
- ・ 活動 2-2 について：統一不足。（→普及プログラムの計画・実施につき、C/P 機関の間で意見が統一されていない。）
- ・ 活動 3-2 について：予算不足。

1) 「③遅れている」と回答した活動の中で、プロジェクト期間中の完了が難しいものはありますか。

①はい	0
②いいえ	7
無回答	1
計	8

【有効性について】

1 1. 上記以外で、プロジェクトの進捗を妨げる要因はありますか。

①はい	2
②いいえ	5
無回答	1
計	8

1) 「①はい」と回答した方は、それは何ですか。

- ・ 事前調査が不十分。幾つかの参加機関の役割が少ない。
- ・ 十分な人員が配置されていない。

2) それらの阻害要因は、どのように克服できると思いますか。

- ・ 成果 1 について、インフラ、調整メカニズム、共同作業計画ができれば、調整の不足や連携不足などの障害を解決することができる。
- ・ 事前調査を改良する。有能な人員を導入する。

1 2. 逆に、プロジェクトの進捗を促進する要因はありますか。

- ・ 専門家及び現地人員の献身、適切な機材。
- ・ 4 機関の共同作業。JICA 作業チームと機材の購入。

1 3. 本プロジェクトに関わることにより、新たな技術やより高度な能力を得ることができたと思いますか。

①はい	8
②いいえ	0
無回答	0
計	8

- ・ ブラジルへの研修旅行及びインターネット取り扱いコースの経験は大変良かった。

1 4. あなたは、日本人専門家から学んだ知識・技術を他の人に教えることができますか。

①はい	6
②はい、ある程度なら	0
③いいえ	0
無回答	2
計	8

【インパクトについて】

1 5. 技術・能力面の向上以外に、本プロジェクトに参加することによって、あなた自身について変化したことはありますか。

①はい	5
②いいえ	3
無回答	0
計	8

1) 「①はい」と回答した方は、それはどのような変化ですか。

- ・ やる気があれば全てが可能になる。機関間の相互理解は容易ではないが、常識、知識、技術を用い機会を利用することができれば、まさかと思うことが可能になると考えるようになった。
- ・ パイロットプロジェクトの経験及び経験の交流によって。
- ・ 情報の拡大化及び現状に対する他のビジョン。(→ ブラジル研修への参加やインターネットの活用を通じて視野が広がり、自分たちの現状がより良く理解できるようになった。情報へのアクセスが改善された。ブラジリアはアンドレシート市よりも資源は貧しいが最大限活用していることを見て、アンドレシート市ももっとできることがあるのではないか、と考えるようになった。異なる機関が協力して同じ目的に向かって進むためには、まず話し合い、いろいろある方法の中から同じ方法を選択して進んで行くことが大切と思うようになった。)
- ・ 態度、作業方法、新しい考え方。(→ アルゼンチンという国に対して期待を持てるようになった。実現しないかもしれないが、夢を持ち、自由に考えることで、実現することもあり、また実現に向かって進んでいくこともあると考えるようになった。)

1 6. 本プロジェクトについての評価、評判を聞いたことがありますか。

①はい	6
②いいえ	2
無回答	0
計	8

1) 「①はい」と回答された方は、それは何ですか。

- ・ 国際協力及びそれら協力の最終目的に関連した課題。(→ さまざまな憶測やデマが流れている。例えば、「日本は材木を輸入するために、自然環境保護プロジェクトを実施している」など。)
- ・ 公的機関で肯定的な評価

- ・ イグアス国立公園には役に立たないと言っている。(→ 国立公園局の中には、公園周辺の環境保護に積極的な人たちと、公園内の環境保護のみに関心を向ける人たちの 2 派がいる。近年では前者が主力となりつつあるが、後者から見ると本プロジェクトは公園内には直接的な投入を行わないので、否定的に見る向きもある。)

17. 地域社会や住民、特に貧困者や女性、子どもなど社会的弱者、地域の習慣や文化、自然環境などに、本プロジェクトの影響は出ていますか。

①はい	5
②いいえ	3
無回答	0
計	8

1) 「①はい」と回答された方は、どのような影響か説明してください。

- ・ 好奇心。作業を生み出す刺激が生まれた。例えばキャンプ場の建設。(→ 市長は、自分の土地に同様のキャンプサイトを作ろうとしている。類似の動きが見られる。また、子どもたちの間では、「将来、ガイドになりたい」という夢をもつ子どもが増えた。
- ・ アンドレシート市の地域社会、イグアス町の学校で。
- ・ 悪い影響は見られない、人間には害を与えない。

【支援と自立発展性について】

18. 本プロジェクトは、アルゼンチン側及び日本側から必要な量及び質の支援が、適切なタイミングで得られていますか。支援には、人員配置、施設・設備の整備、予算の措置、助言などが含まれます。

①はい	5
②いいえ	3
無回答	0
計	8

1) 「②いいえ」と回答された方は、どのような点において不適切ですか。

- ・ プロジェクトはアルゼンチン側の人間的なサポートを必要としている。
- ・ 自分の知識を伝える言葉が出来る専門家が必要である。経験不足。
- ・ 国立公園局は人間及び機関としての役割をもっと投入する必要がある。

19. JICA 又は他のドナーによるプロジェクトで、近隣地域で実施されているものや類似分野のものはありますか。

①はい	3
②いいえ	2
無回答	3
計	8

1) 「①はい」と回答された方は、それは何ですか。

- ・ スペイン協力 (AECI) のアラウカリアプログラム。

20. 本プロジェクトにより移転されている技術・知識は、アルゼンチン国の他の地域においても適用性は高いと思われますか。

①非常に高い	3
②普通	5
③低い	0
無回答	0
計	8

21. あなたの所属する機関又は関係機関が、プロジェクト終了後も本プロジェクトを通じて移転された知識や技術を活用していく可能性は高いと思いますか。

①非常に高い	4
②高い	3
③低い	0
無回答	1
計	8

22. 本プロジェクトの実施過程において、必要な意思決定は適切かつ円滑になされていますか。ここでは、a)各機関内、b) C/P 機関間の両方について答えてください。

①はい	6
②いいえ	2
無回答	0
計	8

1) 「②いいえ」と回答された方は、それはどういう場合で、どういう理由によるものか、詳しく説明してください。

- ・ 決断する為の明確な診断が不足していた。お互いに相談し合うことが少なかった。
- ・ 国立公園局には情報不足。カウンターパート間には調整されたチーム作業の習慣不足。

23. JCC や WG などモニタリングのしくみは、プロジェクト活動を改善し、円滑に実施するために適切に機能していますか。

①はい	6
②いいえ	2
無回答	0
計	8

1) 「②いいえ」と回答された方は、どのような意味で十分機能していないと思われますか。また、どのような解決策（代替案）がありますか。

- ・ マネージャー不足。組織するグループは多いが実行するものは少ない。
- ・ 多くの人が集まり案だけを提出するが、実行に関してはサポートしない。

24. あなたの機関の職員数及びその能力は、プロジェクト終了後に日本の支援無しで活動を実施していくのに十分だと思いますか。

①はい	5
②いいえ	2
無回答	1
計	8

「②いいえ」の理由

- ・ 数、従事時間及び質を良くしなければならない。
- ・ プロジェクトには国立公園局から少なくとも3人が必要である。

25. プロジェクト活動に関する財政面での安定性及び自立発展性について、あなたの見通しを教えてください。また、これらをもつて高めるためにプロジェクトは何をすべきだと思いますか。

①非常に安定的／持続可能	2
②現状維持は可能	3
③不安定／不足	3
無回答	0
計	8

「③不安定／不足」の理由

- ・ 長期にわたって資金が必要だから

26. 本プロジェクトの活動により、地域社会や文化・慣習、自然環境及び社会的弱者に対してマイナスの影響を及ぼす可能性はありますか。

①はい	0
②いいえ	8
無回答	0
計	8

以上

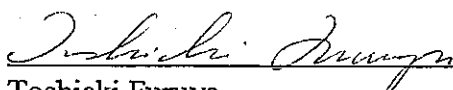
MINUTES OF MEETING
BETWEEN JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY
AND THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF THE
ARGENTINE REPUBLIC ON JAPANESE TECHNICAL COOPERATION
FOR THE NATURAL ENVIRONMENT CONSERVATION PROJECT
IN THE IGUAZU AREA

Based on the recommendations in the Minutes of Meetings signed between the Japanese Mid-term Evaluation Team organized by Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and the Argentine authorities concerned on 4th August, both sides had a series of discussions with respect to desirable measures to be taken by JICA and the Argentine Government for the successful implementation of technical cooperation for the Natural Environment Conservation Project in the Iguazu Area (hereinafter referred to as "the Project").

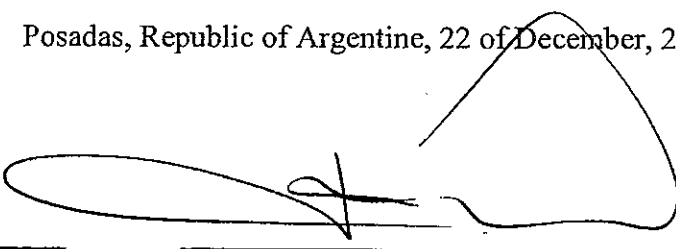
As a result of the discussions, both sides agreed on the matters referred to in the document attached hereto.

Done in duplicate in Spanish and English, each text is equally authentic. In case of any divergence of interpretation, the English text shall prevail.

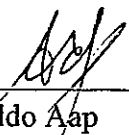
Posadas, Republic of Argentine, 22 of December, 2005



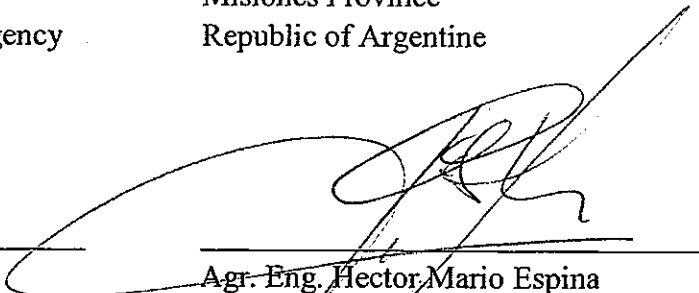
 Toshiaki Furuya
 Resident Representative
 JICA Argentine Office
 Japan International Cooperation Agency
 JAPAN



 Eng. Carlos Rovira
 Governor
 Misiones Province
 Republic of Argentine



 Mr. Aldo Aap
 Mayor
 Comandante Andres Guacurari Municipality
 Misiones Province
 Republic of Argentine



 Agr. Eng. Hector Mario Espina
 President
 National Parks Administration
 Republic of Argentine

THE ATTACHED DOCUMENT

1. Revision of the Project Design Matrix (PDM)

(1) Background of the Revision of the PDM

In the process of the Mid-term evaluation work done from 20th July to 5th August, the Joint Evaluation Team (hereinafter referred to as "the Team") recognized unclear descriptions and distortions in logic in the original PDM. Also, in some part, it was rather difficult to make evaluation due to lack of setting concrete targets as indicators. The purpose of the revision is to make the PDM to clearly show the directions to go of the Project, to be understood easily by all those who are concerned, and to facilitate smooth implementation of the Project.

(2) Procedure of the revision

Based on the results of evaluation, the Team revised the original PDM and submitted the proposal to the Joint Coordinating Committee (hereinafter referred to as "JCC") held on 4th August, 2005. Receiving the proposal, JCC finalized the revised PDM after three times of JCC meeting in August and October.

Both sides agreed on the revised PDM which is given in Annex 1. The details of modifications are found in Annex 3.

2. Terms of Reference (TOR) of the Counterpart Organizations

(1) Background of clarifying TOR of the Counterpart Organizations

While each C/P organization recognizes the necessity of its own active participation in the Project, unclear assignment of roles and responsibilities prevent them from actively participating in the Project. To facilitate their participation in the project activities, the roles and responsibilities of the Counterpart Organizations have been divided in consideration of each C/P organization's expertise, human resources and financial aspects.

(2) Procedure of clarifying TOR of the Counterpart Organizations

Based on the results of evaluation, the Team clarified the roles of each C/P organization in the Project and drafted the TOR. Then, JCC made necessary procedures to obtain a common agreement through three times of JCC meetings.

Both sides agreed on the TOR which is referred in Annex 2. The details of modifications are found in Annex 3.

- Annex 1 Revised Project Design Matrix (PDM)
- Annex 2 Terms of Reference (TOR)
- Annex 3 Modification of PDM / TOR



T
h

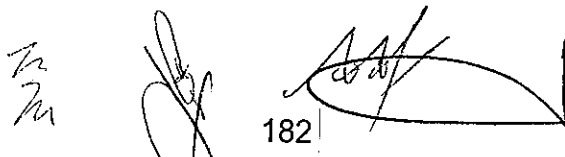


Annex 1: Revised Project Design Matrix (PDM)

Project Name: The Natural Environment Conservation Project in the Iguazu Area, Argentina
Target Area: Iguazu National Park and its Surrounding Area (Buffer zone, and Green Corridor Area)
Implementing Body: State Government of Misiones (Ministries of Ecology, Renewable Natural Resources, and Tourism – MERNRyT), National Parks Agency (APN), Municipal Government of Andresito
Target Group: State Government of Misiones, National Parks Agency, Municipal Government of Andresito and Citizens of Andresito
Period: Three years from Japanese fiscal year 2004, i.e. from April 2004

2005/10/**

Project Outline	Indicator	Source of Indicator Data	Important Assumptions
<p>Priority Objectives (Overall Goal)</p> <p>To improve the management and the utilization of Iguazu National Park and the public sanctuary, and to strengthen the conservation of the natural environment in the Green Corridor</p>	<p>1. Coverage and connectivity of the forest surface are maintained in the project area five years after the termination of the project.</p> <p>2. Number of eco-tourism activities*, which utilize natural resources in sustainable ways and put little impact on its environment, are increased five years after the termination of the project.</p> <p>3. Survey for collecting information and its updating are undertaken about natural environment in the target area.</p> <p>4. Activities such as awareness-raising, environment education, and eco-tourism are carried out based on the results of the survey for conserving natural environment.</p> <p>*Number of eco-tourism activities: Quantity of business (e.g. Operators of lodging, house riding, river sailing, trekking, and cycle tourism, and quantity of tourists)</p>	<p>1. Monitor Report from APN, MERNRyT</p> <p>2. Questionnaires and interview surveys on employees of implementing bodies and local citizens</p> <p>3. (Ditto as above)</p> <p>4. (Ditto as above)</p>	<p>* Environment policies of the implementation bodies and their competent organizations should be continued.</p>
<p>Project Objectives (Project Purpose)</p> <p>To develop officers' capacity for management of the natural environment of the National Park Agency (APN) and state government (MERNRyT) and Andresito city in the project area¹.</p>	<p>1. At least two (2) C/Ps have become capable of carrying out the tasks related to each of six (6) items necessary for natural environment management² without support of JICA exports.³</p> <p>2. Degree of capacity of the management of the natural environment of APN personnel</p> <p>3. Degree of capacity of the management of the</p>	<p>1~4 Format for evaluation</p>	<p>* Organizational structure of the implementation bodies should be maintained.</p> <p>* Counterparts continue to be engaged in the operation of the tasks in which they have been capacitated through the Project. When they are moved to different positions or quit the job, a</p>



<p>Achievements (Outputs)</p> <p>1. To share and utilize information and data on the natural environment among the relevant organizations in proper forms for utilization for natural environment management.</p>	<p>natural environment of the personnel 4. Degree of capacity of the management of the natural environment of the Andresito city officers</p>	<p>smooth handover of the methodologies and knowledge needs be ensured. * Skills acquired by personnel should be disseminated to other staff members and local citizens.</p>
<p>2. To upgrade the capability of the C/Ps in promoting the dissemination and educational activities on natural environment protection targeting local citizens in the project area and tourists</p>	<p>1.1 Plan for management and operation in the field of information sharing and utilization targeting after the Project finished (including responsible organization(s) for the management, division of roles taken by each C/P organization, models for applying those information and data under local conditions, etc.)</p> <p>1.2 Number of partnership projects (seminars and workshops) (target: 6) and participants (target: 50 persons)</p> <p>1.3 Number of items and amount of information shared by the implementing bodies (target: 10 items: 10 point-time)</p>	<p>* The content of the operations of the implementing bodies should not change drastically during the project.</p> <p>* Counterparts continue to be engaged in the operation of the tasks in which they have been capacitated through the Project. When they are moved to different positions or quit the job, a smooth handover of the methodologies and knowledge needs be ensured.</p>
<p>2. To upgrade the capability of the C/Ps in promoting the dissemination and educational activities on natural environment protection targeting local citizens in the project area and tourists</p>	<p>2.1 Number and quality of improved and/or formulated programs (target: 2 for promoting dissemination; 3 for environment education)</p> <p>2.2 Number and quality of improved and/or prepared dissemination and educational materials (target: 12 for dissemination; 2 for educational use)</p> <p>2.3 Performance in implementing dissemination programs and environment education programs (target: 7 cases for dissemination; 17 cases for environment education with 90 participants)</p> <p>2.3.1 Cases that the C/Ps formulate plans without support of JICA experts</p> <p>2.3.2 Cases that the C/Ps implemented the programs without support of JICA experts</p>	<p>1.1-1.3 Activity Report</p> <p>2.1 Activity Report, Questionnaires and interview surveys on the programs and those from the participants about their opinions</p> <p>2.2 (Ditto as 2.1)</p> <p>2.3 Activity Report</p>

M

[Signature]

[Signature]

<p>3. To accumulate the knowledge and experience of sustainable natural resource utilization through the implementation of a pilot program and transfer them to local community.</p>	<p>3.1 Proposals for facilitating eco-tourism after the Project finished (including responsible organization(s) for the management, division of roles taken by each C/P organization, methods to disseminate the accumulated knowledge and data to the private sector, models for applying those information and data under local conditions, etc.)</p> <p>3.2 Number of participating organizations (target: 8 in 3 categories) and individuals (target: 90 persons) in the pilot program</p> <p>3.3 Number of items of data collected from the pilot program (target: 6 items)</p>	<p>3.1-3.3 Program Report</p>
<p>Activity</p> <p>1-1: Establish cooperation framework among relevant organizations to jointly formulate a plan for how to share information and data on the natural environment of the project site.</p> <p>1-2: Collect and compile information on satellite images, fauna, flora, agro-eco tourism and social and economic conditions and share those information through the Internet, pamphlets, seminars, etc.</p> <p>1-3: Share information necessary for natural environment management in the form of seminars and workshops.</p> <p>2-1: Formulate materials for dissemination targeting local community and tourists</p> <p>2-2: Plan and implement dissemination programs</p> <p>2-3: Formulate environment education programs</p> <p>2-4: Formulate the materials for environment education</p> <p>2-5: Implement the environment education programs</p> <p>3-1: Formulate Pilot Program Plan</p> <p>3-2: Provide training for the implementation of the pilot program</p>	<p>Injection (Inputs)</p> <p>[Japan]</p> <p>1. Human Resources (1) Short-term Experts * Protected Area Management/ Coordinator * Environment Education * Participatory Natural Resource Control * Social Development/Project Manager * Natural Environment Conservation * Eco-tourism</p> <p>2. Counterpart Training (Training in Japan) * Natural Environment Conservation * Natural Resource Control</p> <p>3. Equipment and Facility Development Necessary for the Project</p> <p>4. Local Cost: A Part of Cost Necessary for Project Activities</p> <p>5. Others</p>	<p>[Argentine]</p> <p>1. Human Resources (1) Project Director Minister of MERNRYT Misiones province (2) Project Manger Director of the Ecosystems Agency, Ministry of MERNRYT Misiones province (3) Counterpart personnel Officer of the MERNRYT Misiones province Staff of the Office of the Management of Iguazú National Park, APN Officer of Andresito City government (4) Secretary, Clerical staff</p> <p>2. Equipment</p> <p>3. Land, buildings, facilities (including the office of Japanese experts)</p> <p>4. Local cost: Budget necessary for the project activities</p>
		<p>Prerequisites (Preconditions)</p> <p>* Implementing bodies (State Government of Misiones, National Park Agency, Andresito City) must all approve the implementation of the Project.</p> <p>* Representing and coordinating the implementation bodies, MERNRYT of Misiones province formulates official documents necessary for the implementation of the project and they will be submitted to the Japanese government through the government of Argentina.</p> <p>* By the coordination of MERNRYT of Misiones province, necessary agreements are exchanged among implementing bodies about the facilities and equipments used for the Projects</p> <p>* Each implementing body should include necessary budget for the implementation of the Project in the annual plan</p>

13/2

3-3: Implement the pilot program for Eco Tourism

3-4: Accumulate knowledge and experience through the implementation of the pilot program and disseminate them to the private sector and other organization in need in the Province

*1. Project area : the public sanctuary in the north of the Green Corridor and its buffer zones

*2. Six (6) items necessary for natural environment management: Six (6) kinds of capabilities related to the three (3) Outputs that can be expected to upgrade through the Project implementation. *3. Indicator 1 for the Project purpose: Using the attached format for evaluation, it is to be assessed in the final evaluation of the Project if some C/Ps have obtained with sufficient capability to carry out the tasks without support of JICA experts. The target is set as "to have at least two (2) C/Ps for each item" who are given the highest rate, i.e. 5 points, or the second highest, i.e. 4 points, which imply "sufficiently capable without support of JICA experts" and "capable with a little support of JICA experts".

*4. Indicator 2-4 for the Project purpose: Using the attached format for evaluation, the degree of upgrading in capability of each C/P is to be measured in the final evaluation of the Project. On each of the six (6) items, comparison will be made between the time of beginning of the Project and the time of finalizing of the Project. Soon after the mid-term evaluation, the Project will fill in the format with the baseline and set the target level for each item for each C/P since degree and kinds of capabilities required for each C/P must be varied. At the time of final evaluation, evaluation can be made by comparing with the set target levels.

How to set the targets for each indicators

Indicator 1.2. Number of partnership projects (seminars and workshops) (target: 6) and participants (target: 50 persons)

- Number of partnership projects (seminars and workshops) (target: 6); set in accordance with the implementation plan of the Project

- Number of participants (target: 50 persons); estimated from the total numbers of the staffs who are expected to understand the Project. The number consists of those as follows; 1) MERNRYT; approximately 25 staffs out of 30, i.e. approximately 20 staffs working in the northern part of the province and 10 in the Head Office in Posadas, 2) APN; approximately 15 staffs out of 60, i.e. those working in Iguazu National park and in the northeastern branch, and 3) Andresito municipality; approximately 10 staffs out of 50.

Indicator 1.3. Number of items and amount of information shared by the implementing bodies (target: 10 items: 10 point-time)

- Number of items (target: 10 items); those covering the basic items in the field of natural environmental conservation, seen in the attached list.

- Number of amount of information (target: 10 point-time); 5 points X 2, including 3 points X 2 that have been already surveyed.

Indicator 2.1 Number and quality of improved and/or formulated programs (target: 2 for promoting dissemination; 3 for environment education)

- For promoting dissemination (target: 2); 1 for tourist and 1 for local people, in which various activities such as "dissemination through radio program" can be found.

- For environment education (target: 3); 1 for local people, 1 for teachers, and 1 for tourist

Indicator 2.2 Number and quality of improved and/or prepared dissemination and educational materials (target: 12 for dissemination; 2 for educational use)

- Number of improved and/or prepared dissemination (target: 12); 8 pamphlets, 2 calendars, 1 uniform, 1 poster and 1 panel

- Number and quality of improved and/or prepared educational materials (target: 2); 1 guidebook and 1 audio-visual material

Indicator 2.3 Performance in implementing dissemination programs and environment education programs (target: 7 cases for dissemination; 17 cases for environmental education with 90 participants)

- Dissemination programs (target: 7 cases); 5 for local people and 2 for tourists

- Environment education programs (target: 17 cases); 5 for local people with approximately 10 participants, 6 for teachers with approximately 20 participants, and 6 for tourists

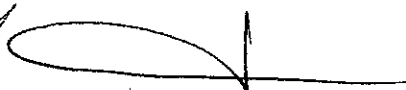
with approximately 60 participants

Indicator 3.2 Number of participating organizations (target: 8 in 3 categories) and individuals (target: 90 persons) in the pilot program

- Number of participating organizations (target: 8 in 3 categories); 8 organizations that are expected to take part in the pilot program implementation, mainly in the private sector and with full-time staff, in 3 categories, i.e. 1) accommodation and food services, 2) services in the fields of eco-friendly activities, 3) transportation.
- Number of participating individuals (target: 90 persons); approximately 20 persons in construction, 50 participants in environment education programs, 20 persons engaging in services such as car rental, tour guide, and the like.

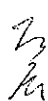


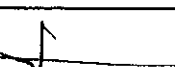
Indicator 3.3 Number of items of data collected from the pilot program (target: 6 items)

- Number of items (target: 6 items); those covering the basic items for starting and operating the pilot program, seen in the attached list.



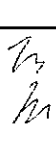

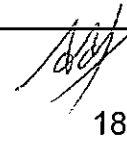
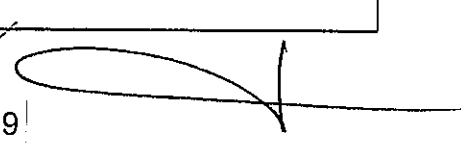
Annex 2: Terms of Reference (TOR) for the C/P organizations

Narrative Summary	MERNRyT	APN	Andresito municipality
<p>Output</p> <p>1. To share and utilize information and data on the natural environment among the relevant organizations in proper forms for utilization for natural environmental management.</p>	<p>(Assistant Organization in charge of Output 1)</p> <p>1. Collect, compile and submit information on satellite image of the Project area to the Project</p> <p>2. Collect, compile and submit information on natural environmental situation of provincial parks and the surrounding area (5-8 items out of 10) to the Project</p> <p>3. Plan and implement seminars/WSs for sharing information, i.e. partnership projects, in Posadas and Andresito municipality (at least once a year)</p> <p>4. Participate in the operation of the plan that is to be prepared by ANP</p>	<p>(Main Organization in charge of Output 1)</p> <p>1. Collect, compile and submit information on natural environmental situation of national park and the surrounding areas (5-8 items out of 10) to the Project</p> <p>2. Plan and implement seminars/WSs for sharing information, i.e. partnership projects, in Puerto Iguazu and Andresito municipality (at least once a year)</p> <p>3. Prepare a plan for effective sharing and utilization of the information and data on natural environmental situation in the Project area</p> <p>4. Coordinate with MERNRyT and Andresito municipality on the draft of the plan</p> <p>5. To formulate the draft plan to share and utilize information and data on natural environment by use of the Yacuy Joint Office (which is a core station to implement natural environment management in target area)</p>	<p>1. Collect, compile and submit information on socio-economic situation in Andresito municipality (1 item out of 10) to the Project</p> <p>2. Participate in the operation of the plan that is to be prepared by ANP</p>

Narrative Summary	MERNRYT <u>(Main Organization in charge of Output 2)</u>	APN <u>(Assistant Organization in charge of Output 2)</u>	Andresito municipality
<p>2. To upgrade the capability of the C/Ps in promoting the dissemination and educational activities on natural environment protection targeting local citizens in the project area and tourists</p>	<p>1. Plan and prepare programs and materials for dissemination targeting on tourists, including potential tourists, e.g. homepage and pamphlets</p> <p>2. Implement the prepared dissemination programs targeting on tourists in the whole Misiones province and also in other provinces in the country</p> <p>3. Implement the prepared environment education programs</p>	<p>1. Assist MERNRYT and Andresito municipality in their planning and preparing programs and materials for dissemination targeting tourists and local people respectively</p> <p>2. Coordinate with MERNRYT and Andresito in their planning and preparing 3 kinds of programs, i.e. 1 for local people, 1 for teachers, and 1 for tourists, and materials for environment education and allocate tasks among the three C/P organizations, including APN itself</p> <p>3. Implement the prepared dissemination programs targeting on tourists in Puerto Iguazu</p> <p>4. Implement the prepared environment education programs</p>	<p>1. Plan and prepare programs and materials for dissemination targeting on local people, e.g. radio program, poster, calendars, and uniform</p> <p>2. Plan and prepare programs and materials for dissemination targeting on tourists, including potential tourists, e.g. panel</p> <p>3. Implement the prepared dissemination programs targeting on local people and tourists in Andresito municipality</p> <p>4. Implement the prepared environment education programs</p>

Narrative Summary	MERNRyT	APN	Andresito municipality
	<u>(Main Organization in charge of Output 3)</u>		<u>(Assistant Organization in charge of Output 3)</u>
<p>3. To accumulate the knowledge and experience of sustainable natural resource utilization through the implementation of a pilot program and transfer them to local community</p>	<p>1. Prepare draft proposals on promotion of eco-tourism in the Project area</p> <p>2. Facilitate related organizations in the province to participate in the actions for eco-tourism promotion which is prepared as the draft proposals</p> <p>3. Execute the management and operation of the pilot program. (The supervision will be accomplished by the Management Committee of the pilot program)</p> <p>4. Collect, compile and submit information and data obtained through the implementation of the pilot program mainly to the private sector and other organizations in need in the province</p>	<p>1. Facilitate related organizations mainly in Puerto Iguazu to participate in the actions for eco-tourism promotion which is prepared as the draft proposals</p> <p>2. Assist MERNRyT and Andresito municipality in their management and the operation of the pilot program</p>	<p>1. Assist MERNRyT in preparing draft proposals on promotion of eco-tourism in the Project area, especially in collecting socio-economic information of the Project area and keeping correlations the draft proposals in with the conditions in the Project area</p> <p>2. Facilitate related organizations mainly in Andresito municipality to participate in the actions for eco-tourism promotion which is prepared as the draft proposals</p> <p>3. Assist MERNRyT in the management and the operation of the pilot program.</p> <p>4. Collect, compile and submit information and data obtained through the implementation of the pilot program mainly to the private sector other organizations in need in the municipality</p>

Annex 3: Modification of PDM / TOR

	Before (Original PDM / TOR)	After (Revised PDM / TOR)	Reasons for modification / modified points
PDM Priority Objectives (Overall Goal)	To improve the Iguazu National Park and the public sanctuary, and to strengthen conservation of the natural environment in the Green Corridor.	To improve the management and the utilization of Iguazu National Park and the public sanctuary, and to strengthen the conservation of the natural environment in the Green Corridor.	It was not clearly shown in the original description that the Project would not improve the Iguazu National Park and the public sanctuary themselves, so that clearly show their improvement of the management and the utilization.
PDM Indicator 1 of the Priority Objectives	Factors of environment load (the numbers of poaching / illegal felling incidents) are reduced five years after the termination of the project.	(Deleted)	It was found difficult to collect precise data. Also, it has a possibility that the numbers of poaching / illegal felling will be increased because of the improvement of the management / control of the parks, so that it is not appropriate in this case.
TOR Narrative Summary 3 Andresito municipality	Execute the sub management and sub operation of the pilot program.	Assist MERNRYT in the management and the operation of the pilot program.	The word of "sub" is not described its real intention, so it was modified for "Assist".

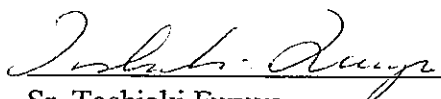
ACTA DE REUNIÓN
ENTRE LA AGENCIA DE COOPERACION INTERNACIONAL DEL JAPON
Y LAS AUTORIDADES DEL GOBIERNO ARGENTINO
INVOLUCRADAS EN LA COOPERACION TECNICA PARA EL PROYECTO
DE CONSERVACION DEL AMBIENTE NATURAL EN EL AREA DE IGUAZU

Basadas en las recomendaciones del Acta de Reuniones firmado el 4 de Agosto de 2005, entre la Misión Japonesa de Evaluación Intermedia, organizada por la Agencia de Cooperación Internacional del Japón (en adelante referida como "JICA") y las Autoridades Argentinas involucradas, ambas partes tuvieron una serie de conversaciones con respecto a las medidas convenientes a ser tomadas por ambas partes para la satisfactoria ejecución de la cooperación técnica para el Proyecto de Conservación del Ambiente Natural en el Area de Iguazú (en adelante referida como "el Proyecto").


Como resultado de esas reuniones, ambas partes acordaron sobre los asuntos referidos en el documento adjunto.

Confeccionado en idioma español e inglés, siendo cada uno de ellos igualmente auténtico. En caso de surgir dudas en la interpretación, prevalecerá el texto en inglés.


Provincia de Misiones, Rca. Argentina, 22 de Diciembre de 2005



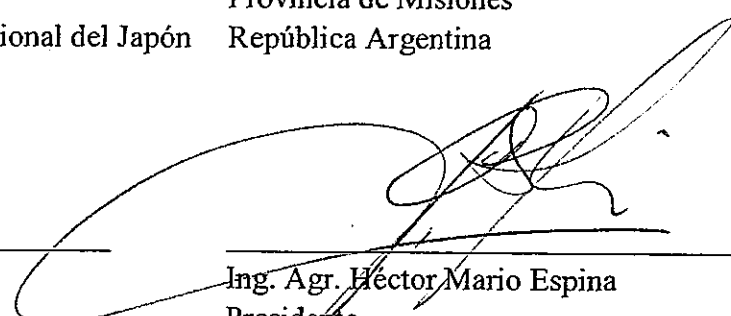
Sr. Toshiaki Furuya
Representante Residente
JICA Oficina en la Argentina
Agencia de Cooperación Interancional del Japón
JAPON



Ing. Carlos Rovira
Gobernador
Provincia de Misiones
República Argentina



Sr. Aldo Aap
Intendente
Municipalidad de Comandante Andresito
Provincia de Misiones
República Argentina



Ing. Agr. Héctor Mario Espina
Presidente
Administración de Parques Nacionales
República Argentina

DOCUMENTO ADJUNTO

1. Modificación del Diseño de la Matriz del Proyecto (PDM)

(1) Antecedentes de la modificación del PDM

En el proceso de los trabajos de evaluación intermedia realizado desde el 20 de Julio al 5 de Agosto de 2005, la Comisión de Evaluación Conjunta (en adelante referida como "el Equipo") reconoció descripciones no claras y distorsionadas en el original del PDM. Además, en algunas partes fue algo dificultoso proceder a la evaluación debido a la falta de objetivos concretos como indicadores. El propósito de la modificación es hacer un PDM que muestre claramente la orientación que tiene el Proyecto, se entienda fácilmente por todos los involucrados y facilitar la implementación del Proyecto.

(2) Procedimiento de la revisión

Basados en los resultados de la evaluación, el Equipo revisó el original del PDM y presentó la propuesta al Comité de Coordinación Conjunta (en adelante referido como "CCC") considerándolo el 4 de Agosto de 2005. Una vez recibido la propuesta, el CCC concluyó la revisión del PDM después de 3 reuniones en los meses de Agosto y Octubre.

Ambas partes acuerdan sobre el PDM modificado, el cual forma parte como Adjunto 1. Los detalles de las modificaciones son encuentran en el Adjunto 3.

2. Términos de Referencia (TOR) de los Organismos Contrapartes

(1) Antecedentes de aclarar los Términos de Referencia de los Organismos Contrapartes.

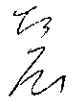
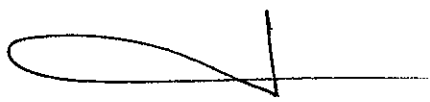
Cada Organismo Contraparte reconoce la necesidad de su participación activa en el Proyecto, impedidos por la falta de claridad en la definición de los roles y las responsabilidades dentro del Proyecto. Se han dividido estos roles y responsabilidades considerando la expertis, los recursos humanos y los aspectos financieros de cada Organismo Contraparte.

(2) Procedimiento para clarificar los TOR de los Organismos Contrapartes

Basados en el resultado de la evaluación, el Equipo clarificó los roles de cada Organismo Contraparte en el Proyecto e hizo un borrador del TOR. Luego, el CCC tomó las medidas necesarias para obtener un común acuerdo a través de 3 reuniones.

Ambas partes acuerdan sobre el TOR, el cual esta referido en el Adjunto 2. Los detalles de las modificaciones se encuentran en el Adjunto 3.

- Annex 1 Diseño de la Matriz del Proyecto (PDM)
- Annex 2 Términos de Referencia (TOR)
- Annex 3 Modificaciones del PDM / TOR



Adjunto 1: Diseño de la Matriz del Proyecto Modificado (PDM)

Nombre del Proyecto: Proyecto de Conservación del Ambiente Natural de la Región de Iguazú, República Argentina
 Área del Proyecto¹: Parque Nacional Iguazú y sus zonas circundantes (Zona de Amortiguación y Área del Corredor Verde)
 Organismos Ejecutores: Gobierno de la Provincia de Misiones (Ministerio de Ecología, Recursos Naturales Renovables y Turismo – MERNRYT), Administración de Parques Nacionales (APN), Municipalidad de Comandante Andresito
 Beneficiarios: Gobierno de la Provincia de Misiones, Administración de Parques Nacionales, Municipalidad de Comandante Andresito y los residentes locales de Andresito

Duración: Tres años desde el Período Fiscal 2004

Esquema del Proyecto	Indicador	Fuente de datos indicadores	Condición Externa
<p>Objetivo Superior</p> <p>Mejorar el manejo y la utilización del Parque Nacional Iguazú y de las áreas protegidas, como así también impulsar la conservación del ambiente natural del Corredor Verde</p>	<p>1. Se mantiene la cobertura y la conectividad de la masa boscosa en el área del Proyecto durante los cinco años posteriores a la culminación del Proyecto.</p> <p>2. Aumenta el número de las actividades ecoturísticas que aprovechan los recursos naturales sustentables de poco impacto al medio natural durante los cinco años posteriores a la finalización del Proyecto en comparación al momento de la finalización del Proyecto.</p> <p>3. Se realizan investigaciones para la recolección y actualización de información del ambiente natural del área del Proyecto.</p> <p>4. Se continúan efectuando las actividades de la conservación del ambiente natural (difusión, educación ambiental, ecoturismo, etc.) basadas en los estudios del punto anterior.</p> <p>* número de las actividades ecoturísticas: cantidad de emprendimientos (ej. operadores de alojamientos, cabaigata, navegación de río, trekking, cicloturismo, etc.) y la cantidad de turistas.</p>	<p>1. Informe del Monitoreo de APN, MERNRYT</p> <p>2. Cuestionarios y entrevistas a los empleados de los organismos ejecutores y los habitantes locales.</p> <p>3. Idem párrafo anterior.</p> <p>4. Idem párrafo anterior.</p>	<p>* Deben continuar las políticas ambientales de los organismos ejecutores y las organizaciones competentes.</p>
<p>Objetivos del Proyecto</p> <p>Desarrollar la capacidad de manejo del ambiente natural en el área del proyecto¹ de los empleados de la Administración de Parques Nacionales (APN), del Gobierno Provincial (MERNRYT) y del Municipio de Andresito.</p>	<p>1. Con respecto a los 6 puntos² referidos al manejo del ambiente natural por lo menos 2 contrapartes en cada punto pueden efectuar el manejo sin el apoyo de los expertos japoneses³.</p> <p>2. Nivel de capacidad de los funcionarios de APN en el manejo del ambiente natural⁴.</p> <p>3. Nivel de capacidad del personal del</p>	<p>1. - 4. Formulario para evaluación</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▪ Se mantiene la estructura organizacional de los organismos ejecutores durante el proyecto. ▪ Se mantienen las tareas por las contrapartes. En casos del reemplazo de las mismas, las tareas se traspasarán sin inconvenientes.

<p>Resultados</p> <p>1. Compartir información sobre el ambiente natural entre las organizaciones involucradas mediante el desarrollo de capacidades y metodologías apropiadas para luego utilizarlas en el manejo del ambiente natural.</p> <p>2. Elevar la capacidad de ejecución referente a los programas de divulgación y de educación ambiental para la conservación del ambiente natural teniendo como objeto a los habitantes locales dentro del área del proyecto y turistas.</p>	<p>MERNRYT en el manejo del ambiente natural</p> <p>4. Nivel de capacidad de los empleados de la Municipalidad de Comandante Andresito en el manejo del ambiente natural</p>	<p>1.1 Plan de manejo posterior a la finalización del Proyecto (debe estar incluido la institución responsable, distribución de tareas entre las instituciones, etc.).</p> <p>1.2 Cantidad (6 veces) de proyectos cooperativos (seminarios y talleres) y de 50 personas participantes.</p> <p>1.3 Cantidad de items (10 items + lista) y volúmenes (10 veces) de la informaciones que se han compartido entre las instituciones involucradas.</p> <p>2.1 Cantidad y calidad de programas de difusión (2 programas) y de educación ambiental (3 programas) mejorados y elaborados.</p> <p>2.2 Cantidad y calidad de los materiales de difusión (12 materiales) y de educación ambiental (2 materiales) mejorados y confeccionados.</p> <p>2.3 Resultado real (cantidades de eventos organizados, de las personas participantes, etc.) del programa de actividades de difusión (7 veces) y de educación ambiental (17 veces). Total de participantes 90 personas.</p> <p>2.3.1 Cantidad de planes elaborados por las contrapartes sin la asistencia de los expertos japoneses.</p> <p>2.3.2 Cantidad de programas elaborados por las contrapartes sin la asistencia de los expertos japoneses.</p>	<p>Los conocimientos y las experiencias que los funcionarios han obtenido serán transmitidas a otros funcionarios y los habitantes del área.</p>
<p>1.1 - 1.3 Informe de Actividades</p>	<p>1.1 - 1.3 Informe de Actividades</p> <p>2.1 Informe de actividades, cuestionarios y entrevistas acerca de las opiniones de los participantes en los programas.</p> <p>2.2 (idem)</p> <p>2.3 Informe de actividades</p>	<p>* El contenido de las operaciones de los organismos ejecutores no debe cambiar drásticamente durante el proyecto.</p> <p>* Se mantienen las tareas de las contrapartes. En caso del reemplazo de las mismas, las tareas se traspasarán sin inconvenientes.</p>	<p>* Los conocimientos y las experiencias que los funcionarios han obtenido serán transmitidas a otros funcionarios y los habitantes del área.</p>

<p>3. Acumular conocimientos y experiencias del uso sustentable de los recursos naturales mediante la implementación del programa piloto y transferirlos a la comunidad local.</p>	<p>3.1 Programa preliminar para impulsar el ecoturismo luego de la finalización del Proyecto, (incluye la distribución de responsabilidades y las tareas, respecto al programa, entre los organismos participantes, metodología de difusión a los pobladores, propuestas de iniciativas válidas para la zona, etc.)</p> <p>3.2 Cantidad de organizaciones participantes (8 de las 3 categorías) e individuos participantes (90) en el programa piloto.</p> <p>3.3 Cantidad de temas (6) de datos recolectados mediante el programa piloto.</p>	<p>3.1 Verificación visual, Informe del Programa 3.2 Informe del Programa 3.3 (idem)</p>
<p>Actividades</p> <p>1-1: Establecer un marco de cooperación entre las instituciones involucradas para formular en conjunto un plan para compartir la información sobre el ambiente natural del área del Proyecto.</p> <p>1-2: Ordenar y compartir información sobre imágenes satelitales, fauna, flora, ecoturismo y aspectos socioeconómicos, mediante Internet, folletos, seminarios, etc.</p> <p>1-3: Compartir información necesaria sobre el manejo del ambiente natural, a través de seminarios y talleres.</p> <p>2-1: Elaborar materiales de difusión para la comunidad local y los turistas.</p> <p>2-2: Planificar y ejecutar programas de difusión.</p> <p>2-3: Planificar programas de educación ambiental.</p> <p>2-4: Elaborar los materiales de educación ambiental.</p> <p>2-5: Implementar programas de educación ambiental.</p> <p>3-1: Elaborar un Plan del Programa Piloto.</p> <p>3-2: Realizar la capacitación para la ejecución del programa piloto.</p> <p>3-3: Ejecutar el programa piloto de ecoturismo.</p> <p>3-4: Acumular los conocimientos y experiencias mediante la</p>	<p>Insumos Provistos</p> <p>[Japón]</p> <p>1. Recursos Humanos (1) Expertos de Corto Plazo * Manejo de Areas Protegidas / Coordinación del Proyecto * Educación Ambiental * Manejo Participativo de los Recursos Naturales * Desarrollo Social/Director del Proyecto * Conservación del ambiente Natural * Ecoturismo</p> <p>2. Curso de Capacitación de las Contrapartes (Capacitación en Japón) * Conservación del Ambiente Natural * Manejo de los Recursos Naturales</p> <p>3. Equipamiento necesario para el Desarrollo del Proyecto</p> <p>4. Costo Local: Una parte del costo necesario para las Actividades del Proyecto</p> <p>5. Otros</p>	<p>[Argentina]</p> <p>1. Recursos Humanos (1) Director del Proyecto Ministro del MERNyT (2) Administrador del Proyecto Subsecretario de Ecología, MERNyT (3) Contraparte Empleados del MERNyT Personal del Parque Nacional Iguazú Empleados de la Municipalidad de Andresito (4) Secretaria, Empleado Administrativo</p> <p>2. Equipamiento</p> <p>3. Terrenos, Oficinas e Instalaciones (Incluida la Oficina para los Expertos Japoneses)</p> <p>4. Costo Local: Presupuesto necesario para las actividades del Proyecto</p>
	<p>Prerrequisitos</p> <p>* Los organismos ejecutores (Gobierno de la Provincia de Misiones, Administración de Parques Nacionales, Municipalidad de Andresito) deben aprobar la realización del proyecto.</p> <p>* Representando y coordinando a los organismos ejecutores, el Ministro de Ecología, Recursos Naturales Renovables y Turismo de la Provincia de Misiones formula los documentos necesarios para la realización del proyecto, y los presenta al Gobierno de Japón a través del Gobierno Argentino.</p> <p>* Los organismos ejecutores, con la coordinación del Ministerio de Ecología, Recursos Naturales Renovables y Turismo de la Provincia de Misiones, logran los acuerdos necesarios acerca de las instalaciones y equipamientos a utilizar en el proyecto.</p> <p>* Cada organismo ejecutor debe incluir en el plan anual los insumos necesarios para la ejecución del proyecto.</p>	

2004

implementación del programa piloto y difundirlos al sector privado, a las organizaciones de la sociedad civil, y al público en general.

*1 Área del Proyecto: Áreas protegidas en el sector norte del Corredor Verde y las zonas de amortiguación.

*2 6 puntos referidos al manejo del ambiente natural: En este proyecto, se refiere a las seis capacidades concretas para lograr los tres resultados esperados.

*3 Indicador 1 de los Objetivos del Proyecto: Empleando el formato adjunto, se verifica la formación de las personas para la realización de los 6 puntos, sin el apoyo de los expertos de la JICA en el área del Proyecto. El objetivo es formar como mínimo a dos personas que hayan alcanzado el nivel 5 en cada punto, de forma tal que puedan efectuarlo sin el apoyo de los expertos o que hayan alcanzado el nivel 4, pudiendo efectuar cada punto con una pequeña intervención de los expertos.

*4 Indicadores 2 – 4 de los Objetivos del Proyecto: En base al formato adjunto, se mide el mejoramiento de las capacidades de cada Contraparte en el momento de la evaluación final del Proyecto. En relación a cada uno de los 6 puntos se medirá el grado de mejoramiento de las capacidades comparado desde el inicio del Proyecto hasta la finalización del mismo. Sin embargo, como las capacidades individuales difieren unas de otras, en el formato se deja establecido el nivel esperado a alcanzar en cada punto, junto al nivel de base de cada uno de ellos. Finalizando el Proyecto, se realizará la evaluación en comparación al nivel esperado para alcanzar lo establecido.

Adjunto 2 : Distribución de funciones de las instituciones contrapartes.

Resumen del Proyecto	Ministerio de Ecología	APN	Andresito
<p>Resultados</p> <p>1. Compartir información sobre el ambiente natural entre las organizaciones involucradas mediante el desarrollo de capacidades y metodologías apropiadas para luego utilizarlas en el manejo del ambiente natural.</p>	<p>Organismo asistente a cargo del Resultado 1.</p> <p>1. Recolectar y ordenar las informaciones de las imágenes satelitales del área del Proyecto y aportarlas a las instituciones involucradas.</p> <p>2. Recolectar y ordenar las informaciones del ambiente natural de los Parques Provinciales y sus zonas aledañas en la zona del Proyecto (ítem 5-8/10), y aportarlas a las instituciones involucradas.</p> <p>3. Planear y ejecutar (más de 1 vez por año) seminarios, talleres, etc. (eventos unificados de las instituciones involucradas) para el uso compartido de las informaciones en Posadas y en Andresito.</p> <p>4. Participar en los programas elaborados por la APN.</p>	<p>Organismo principal a cargo del Resultado 1.</p> <p>1. Recolectar y ordenar las informaciones del ambiente natural del Parque Nacional Iguazú y sus zonas aledañas en el área del Proyecto (ítem 5-8/10), y aportarlas a las instituciones involucradas.</p> <p>2. Planear y ejecutar (más de 1 vez por año) seminarios, talleres, etc. (eventos unificados de las instituciones involucradas) para el uso compartido de las informaciones en Puerto Iguazú y en Andresito.</p> <p>3. Elaborar la propuesta del programa del uso compartido de las informaciones y datos del ambiente natural en la zona del Proyecto.</p> <p>4. Coordinar con el MERNRYT y la Municipalidad de Andresito la elaboración del programa.</p> <p>Formular la propuesta del plan para el intercambio y utilización de la información utilizando como base de gestión y ejecución la oficina de uso conjunto de la Seccional Yacui (que funcionará como la estación núcleo para la implementación del manejo del ambiente natural en la zona del proyecto)</p>	<p>1. Recolectar y ordenar las informaciones socio-económicas (ítem 1/10) del Municipio de Comandante Andresito y aportarlas a las instituciones involucradas.</p> <p>2. Participar en la ejecución del plan de actividades que será confeccionado por la APN.</p>

Resumen del Proyecto	Ministerio de Ecología	APN	Andresito
<p>2. Elevar la capacidad de ejecución referente a los programas de divulgación y de educación ambiental para la conservación del ambiente natural teniendo como objeto a los habitantes locales dentro del área del Proyecto y a los turistas.</p>	<p>Organismo principal a cargo del Resultado 2.</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Planificar y elaborar programas y materiales (folletos, Página Web) de difusión para los turistas (se incluyen turistas potenciales). 2. Ejecutar el programa de difusión a los turistas (en todas las áreas de Misiones y otras provincias). 3. Ejecutar los programas elaborados de educación ambiental. 	<p>Organismo asistente a cargo del Resultado 2.</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Asistir al MERNRYT y a la Municipalidad de Andresito en la planificación y la elaboración del programa de difusión para los habitantes y para los turistas. 2. Coordinar con el MERNRYT y la Municipalidad de Andresito en la planificación y elaboración de los programas y los materiales didácticos para la educación ambiental. (3 tipos: para pobladores, para docentes y para turistas). 3. Ejecutar el programa de difusión para la conservación del ambiente natural a los turistas en Puerto Iguazú. 4. Ejecutar el programa elaborado de educación ambiental. 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Planificar y elaborar el programa y los materiales de difusión dirigidos a los pobladores (programas de radios, pósters, almanaques, uniformes). 2. Planificar y elaborar programas y materiales de difusión (paneles) para los turistas (incluódos los potenciales turistas). 3. Ejecutar el programa de difusión de la conservación del ambiente natural para los pobladores de la Municipalidad de Andresito y para los turistas. 4. Ejecutar el programa elaborado de educación ambiental.

Resumen del Proyecto	Ministerio de Ecología	APN	Andresito
<p>3. Acumular conocimientos y experiencias del uso sustentable de los recursos naturales mediante la implementación del programa piloto y transferirlos a la comunidad local.</p>	<p>Organismo principal a cargo del Resultado 3.</p>		<p>Organismo asistente a cargo del Resultado 3.</p>
<p>3. Acumular conocimientos y experiencias del uso sustentable de los recursos naturales mediante la implementación del programa piloto y transferirlos a la comunidad local.</p>	<p>1. Elaborar el plan para la promoción del ecoturismo en el área del Proyecto.</p> <p>2. Impulsar la participación de otros organismos de la Provincia a las acciones propuestas para la promoción del ecoturismo.</p> <p>3. Ejecutar la administración y el manejo del proyecto piloto. (La supervisión la realizará el futuro Comité de Administración del proyecto piloto).</p> <p>4. Recolectar y ordenar los datos obtenidos por la ejecución del proyecto piloto y brindarlo al sector privado y organizaciones necesarias dentro de la Provincia.</p>	<p>1. Impulsar la participación de otros organismos principalmente de la ciudad de Puerto Iguazú a las acciones propuestas para la promoción del ecoturismo.</p> <p>2. Asistir al MERNRYT y la Municipalidad de Andresito, en la administración y el manejo del proyecto piloto.</p>	<p>1. Asistir al MERNRYT en la elaboración de la propuesta para la promoción del ecoturismo, especialmente en la recopilación de la información socio-económica del área del Proyecto, guardando ésta una relación con las condiciones de la zona del Proyecto.</p> <p>2. Impulsar la participación de otros organismos de la Ciudad de Andresito a las acciones propuestas en las acciones para la promoción del ecoturismo.</p> <p>3. Asistir al MERNRYT en la administración y el manejo del proyecto piloto.</p> <p>4. Recolectar y ordenar los datos obtenidos por la ejecución del proyecto piloto y brindarlo al sector privado y otras organizaciones dentro de la Ciudad de Andresito.</p>

Adjunto 3: Detalle de las modificaciones en el PDM / TOR

	Antes (PDM / TOR Original)	Después (PDM / TOR Revisado)	Razones para la modificación/ puntos modificados
PDM Objetivo Superior	Mejora del Parque Nacional Iguazú y del santuario público y fortalecimiento de la conservación del ambiente natural en el Corredor Verde.	Mejorar el manejo y la utilización del Parque Nacional Iguazú y de las áreas protegidas, como así también impulsar la conservación del ambiente natural del Corredor Verde	No está claramente definido en la descripción original, que el Proyecto mejorará el Parque Nacional Iguazú y el Santuario Público en sí mismos, sino que luego de la modificación está claramente definido que mejorará su manejo y su uso.
PDM Indicador 1 del Objetivo Superior	Disminuyen los factores de carga ambiental (cantidad de incidentes de caza furtiva/tala ilegal) durante los cinco años posteriores a la culminación del Proyecto	(Borrado)	Es dificultoso obtener datos precisos. Además, hay posibilidades que la cantidad de caza/tala ilegal aumente porque mejore el manejo/control de los parques, lo cual no es apropiado en este caso.
TOR Resumen Proyecto 3 Municipalidad Andresito	Efectuar como Sub Encargado la administración y el manejo del proyecto piloto	Asistir al MERNRYT en la administración y el manejo del proyecto piloto.	La palabra "sub" no describe la real intención, por lo que es modificado como "Asistir".

13/12

